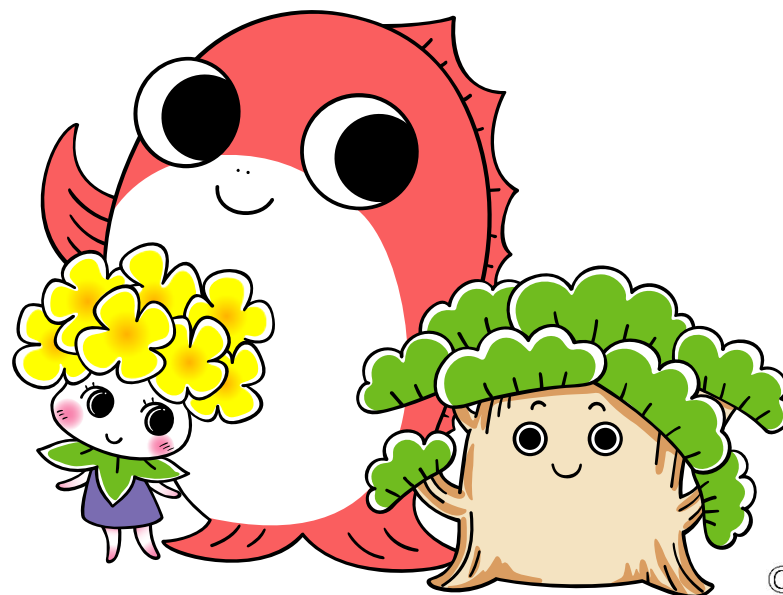


まちづくり市民会議 結果概要



©鴨川市2010

ななちゃん たいよう君 まっつー
鴨川市イメージキャラクター

平成 27 年 10 月
鴨 川 市

目 次

I. まちづくり市民会議の概要	1
1. まちづくり市民会議の目的	1
2. 参加対象者	1
3. 開催概要	1
II. 開催結果	4
1. 第1回まちづくり市民会議	4
2. 第2回まちづくり市民会議	10
3. 第3回まちづくり市民会議	25
4. 第4回まちづくり市民会議	32
5. 第5回まちづくり市民会議	41
6. 第6回まちづくり市民会議	53

I. まちづくり市民会議の概要

1. まちづくり市民会議の目的

鴨川市では、平成 26、27 年度の 2 カ年をかけて、本市の最上位計画としてまちづくり全体の方針を定める「鴨川市第二次総合計画」の策定と、本市の都市計画に関する基本方針を定める「都市計画マスタープラン」の改定作業を進めています。

これらの計画の策定・改定にあたっては、本市で生活する住民や企業・団体、そして行政職員のそれぞれが、夢と行動目標を共有できるように、各主体の意向がしっかりと各方針に反映されていることが実感できるような、協働による計画づくりが必要となります。

この「まちづくり市民会議」は、総合計画及び都市計画マスタープランの策定・改定に向けて、基礎調査や計画内容の検討の進捗にあわせて、市からの情報提供を行いながら、行政への単なる要望ではなく、将来的な実現性と市民の主体性の高い提言をとりまとめ、両計画に反映させることを目的として実施するものです。

2. 参加対象者

次に掲げる方の中から、市長が依頼した 30 名を対象として、まちづくり市民会議を実施しました。

- (1) 公募による市民の方
- (2) 健康、福祉、産業、防災、教育、スポーツ、文化等に関する団体の代表者の方
- (3) 識見を有する方

3. 開催概要

平成 26 年度は、主に総合計画の策定に係るまちづくり全体に関わる内容、平成 27 年度は主に都市計画マスタープランの地域別構想に係る内容について、実施しました。

総合計画に係る内容については、第 1 回で鴨川市全体の将来のまちづくりについて自由に議論し、参加者全体で将来目標の共有を図るとともに、第 2 回、第 3 回ではまちづくりテーマごとにグループ分けをし、各テーマが抱える課題や今後の重点施策に反映するための提案について話し合いました。

都市計画マスタープランに係る内容については、市域を鴨川、天津小湊、江見、長狭の 4 地域にグループ分けし、第 4 回から第 6 回にわたり、地域別構想の作成を目的とした地域の課題や将来像の提案について話し合いました。

○ 開催概要

	テーマ	開催日時	開催場所	内容	計画への反映
第1回	～10年後の鴨川市を考える～ (かもカフェ)	平成27年 1月24日(土) 13時～15時30分	鴨川市役所 4階大会議室	○かもカフェ(参加者を5つのグループに分けて“10年後の鴨川市”を考える) ○まちづくりのキーワードの提案	総合計画の「将来像、施策の大綱の目標」、都市計画マスタープランの「将来都市像」に反映
第2回	施策の満足度・重要度評価と重点課題	平成27年 2月22日(日) 13時～15時	鴨川市 総合運動施設 文化体育館 2階会議室	○4つのテーマ(生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉)ごとにグループ分け ○各テーマの施策の満足度・重要度分析 ○各テーマの重点課題を抽出	総合計画の「課題の分析」、都市計画マスタープランの「全体構想」に反映
第3回	10年後の鴨川市を実現する 重要な取組を提案	平成27年 3月28日(土) 13時～15時	鴨川市役所 4階大会議室	○テーマ別に取り組みを検討・提案 ○重要な取組みを抽出	総合計画の「プロジェクトの提案」、都市計画マスタープランの「全体構想」に反映
第4回	地域の課題とお宝さがし	平成27年 4月26日(日) 13時～15時	鴨川市役所 4階大会議室	○地域の課題マップ・お宝マップの作成 (地域の課題・地域資源の抽出)	都市マスタープランの「地域別の課題分析」、総合計画の「課題の分析」に反映
第5回	地域のまちづくりのキーワード・ 将来像の提案	平成27年 5月24日(日) 13時～15時	鴨川市役所 4階大会議室	○各地域の強み・弱みの検討 ○各地域の将来像やまちづくりの目標を表すキーワードの抽出(3～5つ程度) ○キーワードから地域が目指すべき将来像を示すキャッチフレーズの検討・提案	都市マスタープランの「各地域の将来像」、総合計画の「将来像、施策の大綱の目標」に反映
第6回	将来像の実現に必要な取り組みの提案	平成27年 6月27日(土) 13時～15時	鴨川市役所 4階大会議室	○第5回で設定した地域の将来像について全体で意見交換 ○将来像を実現するための地域づくりの具体的な取り組みの検討・提案	都市マスタープランの「地域別構想」、総合計画の「5か年計画」に反映

○ 委員名簿

NO.	氏名	地区	備考
1	伊丹 一茂	太海	一般社団法人 鴨川市観光協会
2	唐鎌 稔	天津	
3	川名 慶子	鴨川	一般社団法人 鴨川青年会議所
4	高島 祐貴	東条	
5	樋口 洋子	江見	鴨川市商工会(女性部)
6	高梨 陽市	吉尾	鴨川市商工会
7	高橋 由	鴨川	鴨川不動産鑑定事務所
8	花山 藤太郎	鴨川	鴨川市体育協会
9	草間 剛	江見	鴨川市文化協会
10	奈良 節子	天津	鴨川市食生活改善協議会
11	栗原 博之	主基	主基地区社会福祉協議会
12	田原 智之	西条	鴨川市漁業協同組合
13	飯塚 和夫	西条	安房農業協同組合 鴨川支店
14	石田 三示	大山	特定非営利活動法人大山千枚田保存会
15	糟谷 英文	吉尾	鴨川市酪農会
16	黒木 健一	東条	鴨川ライオンズクラブ
17	黒川 洋子	田原	鴨川市消防団(女性消防隊)
18	畠山 秀行	鴨川	一般社団法人 千葉県建築士会安房支部 青年委員会
19	村永 匠	西条	亀田医療大学
20	福山 鈴佳	田原	
21	高梨 如美	大山	城西国際大学観光学部
22	羽鳥 航平	曾呂	
23	高梨 道広	田原	鴨川市ケアマネージャー連絡協議会
24	古橋 博子	田原	鴨川市みんなで育て鯛! まちづくり支援事業審査委員会
25	濱崎 順治	西条	鴨川市学校教育課
26	飯島 真澄	江見	公募委員
27	久根崎 克美	天津	公募委員
28	佐竹 光雄	鴨川	公募委員
29	野村 久子	田原	公募委員
30	平野 義孝	小湊	公募委員

Ⅱ. 会議開催結果

1. 第1回まちづくり市民会議

- 《テーマ》 ～10年後の鴨川市を考える～（かもカフェ）
《日時》 平成27年2月22日（日） 13時から15時まで
《場所》 鴨川市総合運動施設 文化体育館2階会議室
《出席者数》 22名
《傍聴者数》 8名

《当日のプログラム》

- ① 開会・市長あいさつ
- ② 委員長等の選出・委員長あいさつ
- ③ まちづくり市民会議の趣旨、運営方法の説明
 - ・ 市民会議の趣旨と運営方法を説明します。
- ④ ワークショップの進め方の説明
 - ・ ワークショップの全体の流れを説明します。
 - ・ ワークショップのルール（約束ごと）を説明します。
 - ・ 他己紹介シートを使って、みんなで他己紹介をします。
- ⑤ かもカフェ（10年後の鴨川市を考える）
 - ・ 1ラウンド：10年後の鴨川市はこんなまちにしたい①
 - ・ 2ラウンド：10年後の鴨川市はこんなまちにしたい②
 - ・ 3ラウンド：理想の鴨川市を実現するために市民がすべきこと
 - ・ 4ラウンド：元のテーブルに戻って、キーワードを3つ考える
- ⑥ 全体確認・まとめ・閉会
 - ・ 本日の成果を発表し、まとめます。
 - ・ 次回のグループ分けについてアンケートを記入します。

1 開会・市長あいさつ

長谷川孝夫市長より、開会に当たってのあいさつを行いました。

【要旨】 今回の市民会議は、公募をはじめ、幅広い分野、年代層などに配慮した 30 名の皆様にご参加をいただいております、本市では初めての試みとなります。

まちづくりの主役は市民の皆様であり、常に対話を心がけ、同じ目線に立ち、より一層の信頼関係を構築しながら、産・学・民・官が一丸となった協働によるまちづくりを進めていきたいと考えています。

まさに本日の会議は、皆様からのご意見を新たな総合計画や都市計画マスタープランに反映させることにより、市民の皆様との協働によるまちづくりを推進していくことをその本旨としていることから、それぞれのまちづくりへの想いについて、忌憚りの無い、積極的なご意見を頂きたい。

今後、本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来により、地方自治体にとってはこれまで以上に多様で複雑化する住民ニーズへの的確な対応や、震災を尊い教訓とした安全で安心して暮らすことのできるまちづくりが求められている。

加えて、東京オリンピック・パラリンピックの開催を5年後に控えるなか、先に発足した第二次安倍政権における地域住民の生活等緊急支援のための交付金や震災復興を加速化するための補正予算が早々に編成されるなど、地方における「まち、ひと、しごとの創生に向けた総合戦略」を前倒して実施するための財政的な支援措置が講じられたところである。

このような状況のなか、現行の鴨川市総合計画は、平成 27 年度をもって計画期間が終了となることから、引き続き、総合的かつ計画的なまちづくりを推進していくための平成 28 年度以降の新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定に向け、ご参加いただく皆様のお力添えをお願いします。



2 委員長等の選出・委員長あいさつ

委員長に石田三示氏、副委員長に平野義孝氏、古橋博子氏、花山藤太郎氏を選出しました。

石田三示委員長より、あいさつをいただきました。

【要旨】 普段はNPO法人大山千枚田保存会で活動をしている。市民会議は今回が初めての開催になるとのこと。またと無い機会でもあるので、皆さんの活発なご意見をいただきながら、結果を出すことが出来るよう努めたい。



3 まちづくり市民会議の趣旨、運営方法の説明

配布資料に基づき趣旨の説明を行いました。

【趣旨】 まちづくりに関する意見交換及び検討を行い、その結果を新たな総合計画や都市計画マスタープランに反映させることで、もって市民との協働によるまちづくりを推進することを目的とする。

また、市民会議の実施期間、構成、公開、謝礼金及び結果の取扱いについて、参加者への説明を行いました。

4 ワークショップ（「かもカフェ」）の進め方と説明

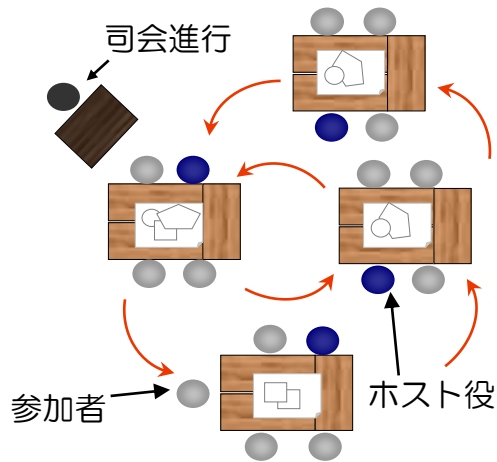
ワークショップの進め方としてワールドカフェ方式を採用することとし、これを「かもカフェ」と名付けました。

また、ワークショップ前のアイスブレイクとして、各グループで「他己紹介」を行いました。



5 かもカフェ（10年後の鴨川市を考える）

■ かもカフェの流れ



1 グループ5～6人

1ラウンド 15～20分で、アイデア等を模造紙に自由に書く。

1ラウンド終了ごとに、ホストを残し別のテーブルへ移動する。

ホストがテーブルで話された内容を新メンバーに説明し、さらに対話を重ねる。

4ラウンド目は、最初のテーブルに戻り、キーワードを導き出す。

なお、今回のかもカフェにおける各ラウンドのテーマは以下のとおりでした。

- 1ラウンド（20分）：10年後の鴨川市はこんなまちにしたい①
- 2ラウンド（15分）：10年後の鴨川市はこんなまちにしたい②
- 3ラウンド（15分）：理想の鴨川市を実現するために市民がすべきこと
- 4ラウンド（15分）：元のテーブルに戻って、キーワードを3つ



6 全体確認（発表）・まとめ・閉会

かもカフェの結果により、各グループから発表された「10年後の鴨川市に向けてのキーワード」は以下のとおりでした。

【グループ1】

キーワード	説明
合併（安房地域全体で）	数年前にあった安房郡の合併を再度見直し、地域を統一できたら良いのではないかな。
人口増	全てのラウンドにおいてネガティブな意見が出たが、その原因は人がいないことに起因するとの共通の認識があった。10年後に人口が増えている鴨川をイメージしようとする、若者が農漁業等に取り組める環境づくりが大事なのではないかな。
観光	人口が少ない本市にとって観光客は大事にしなければならないとの思いから、より良い観光地を創出していくべきであると考ええる。まずは、市民が行動することが大事ではないかな。

【グループ2】

キーワード	説明
国際化	2020年の東京オリンピック開催が見込まれる中で、多くの訪日外国人を呼び込んでほしい。
地産地消（6次化）	本市は農業・漁業が盛んであることから、第1次産業・第2次産業・第3次産業の連携により、市域で採れたものを市域で消費しようとするのが重要なのではないかな。
子育てがしやすい	子育てがしやすい環境であれば、若者の定住が促進され、少子化の改善につながると思う。

【グループ3】

キーワード	説明
地産地消（1次～6次）	10年後の鴨川市では、市域で採れた野菜や魚等は出来る限り地元で消費されていてほしい。
感幸（観光）	本市を来訪された皆さんにお金を使ってもらおうというよりも、いかに満足していただけるかが重要である。「観光」ではなく「感幸」とした理由は、美味しいものを食べていただく、素晴らしいものを見ていただくことに限らず、市民全体でおもてなしをすることが必要であり、それにより幸せを感じていただきたいという意味が含まれている。
ヤングタウン	シルバータウンなどはマイナスのイメージが先行するため、都会の若者にとって本市は若いまちだと感じていただけるような、「ヤングのまち」を作ろうという意味である。

【グループ4】

キーワード	説明
住みたい街づくり	住んでいる市民の方々が満足するまち、住んでいない方々が本市に住みたいと思うまちづくりとして、満足度の高いまちづくりを目指していこうという意味である。
元気	元気と活気と生き生きとしたまちというイメージを吹き込んでいくことが重要である。若さ溢れる元気なまちを目指そうという意味である。
医と観光で職場作り	資源の集中と選択ということで、資源を最大限に有効活用し、今あるもの（市の強みである医療と観光）に磨きをかけていこうという意味である。

【グループ5】

キーワード	説明
人口を増やす	外を歩いていると食べ物をおすすめしてもらえるとといった、本市の良さを市外にPRすることが重要である。そのためには、市民が「鴨川の魅力」を知ることが大切である。
鴨川ブランド	仕事を創出するために、今ある鴨川の資源をうまく活かしていくことが求められる。例としては市の産品をブランド化するなどが挙げられる。
健康長寿	健康長寿を目指し、高齢者にも適度に働いてもらい、老後を全うしていただきたいという意味である。高齢者は仕事から離れると途端に衰えてしまうものなので、出来る限り元気に働いていられるような環境づくりが求められる。

【全体のまとめ】

- 『観光』、『地産地消』というキーワードが複数のグループから発表されました。
- また、『人口増』に関するキーワードも複数のグループから発表され、その取り組みの方向性として『子育てのしやすいまち』、『ヤングタウン』、『健康長寿』、『住みたいまち』といったキーワードが発表されました。



2. 第2回まちづくり市民会議

《テーマ》 施策の満足度・重要度評価と重点課題

《日時》 平成27年2月22日（日） 13時から15時まで

《場所》 鴨川市総合運動施設 文化体育館2階会議室

《出席者数》 22名（生活基盤…6名 産業振興…5名 教育文化…4名 保健福祉…7名）

《傍聴者数》 3名

《当日のプログラム》

① 開会あいさつ

② ワークショップの進め方

- ・ ワークショップ全体の流れと第1回の振り返り、第2回の進め方を説明します。

③ 福笑いゲーム（鴨川市の地図をつくろう）

- ・ 鴨川市の市域のみを型どった模造紙に、グループで話し合いながら鉄道、道路、河川、公共施設、観光資源医療・福祉施設、教育施設を記入します。
- ・ グループごとに発表し答え合わせをします。

④ グループワーク

【ワーク①】 施策の満足度評価

- ・ 施策カードをもとに、満足度・重要度の相関関係図に貼っていきます。

【ワーク②】 鴨川市の強み・弱み

- ・ なぜ満足度が高いか（強み）、なぜ満足度が低いか（弱み）を抽出します。

【ワーク③】 重要課題の抽出

- ・ 重要だと思う意見にシールを貼っていき、重要課題を2つ抽出する。（1人3つまで）

⑤ 全体確認・まとめ・閉会

- ・ 本日の成果を発表し、まとめます。

1 開会・あいさつ

杉田企画政策課長より、開会に当たってのあいさつを行いました。

【要旨】 本日の第2回会議では、4つの分野ごとにグループワークを行っていただき、施策ごとの満足度及び重要度の分析に加え、その中から重要課題を抽出していただくこととしている。最終的に取りまとめられた内容は、可能な限り新たな総合計画等に反映させて参りたいと考えており、前回に引き続き、忌憚りの無い、積極的なご意見ご発言をお願いしたい。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、ワークショップの全体の流れと第1回目の結果及び第2回目の進め方を説明しました。

3 グループワーク

4つの分野（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワークを行いました。

【ワーク①】 施策ごとの満足度評価

各分野に関連する施策カードごとに意見交換を行いながら、満足度・重要度の相関関係図に貼る作業を行いました。



<生活基盤>



<産業振興>



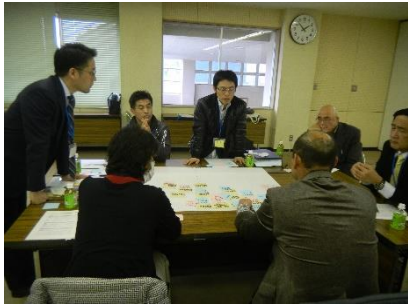
<教育文化>



<健康福祉>

【ワーク②】 鴨川市の強み・弱みの検証

施策カードごとに、なぜ満足度が高いか（まちの強み）、なぜ満足度が低い（まちの弱み）について、意見を書いたふせんを貼る作業を行いました。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

【ワーク③】 重要課題の抽出

重要だと思う意見に1人3つまでシールを貼り、最終的に分野ごとの重要課題を2つ抽出しました。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

4 全体確認（発表）・まとめ・閉会

グループワークの結果により、各グループから発表された施策の評価と重点課題は以下のとおりでした。



＜生活基盤＞



＜産業振興＞



＜教育文化＞



＜健康福祉＞

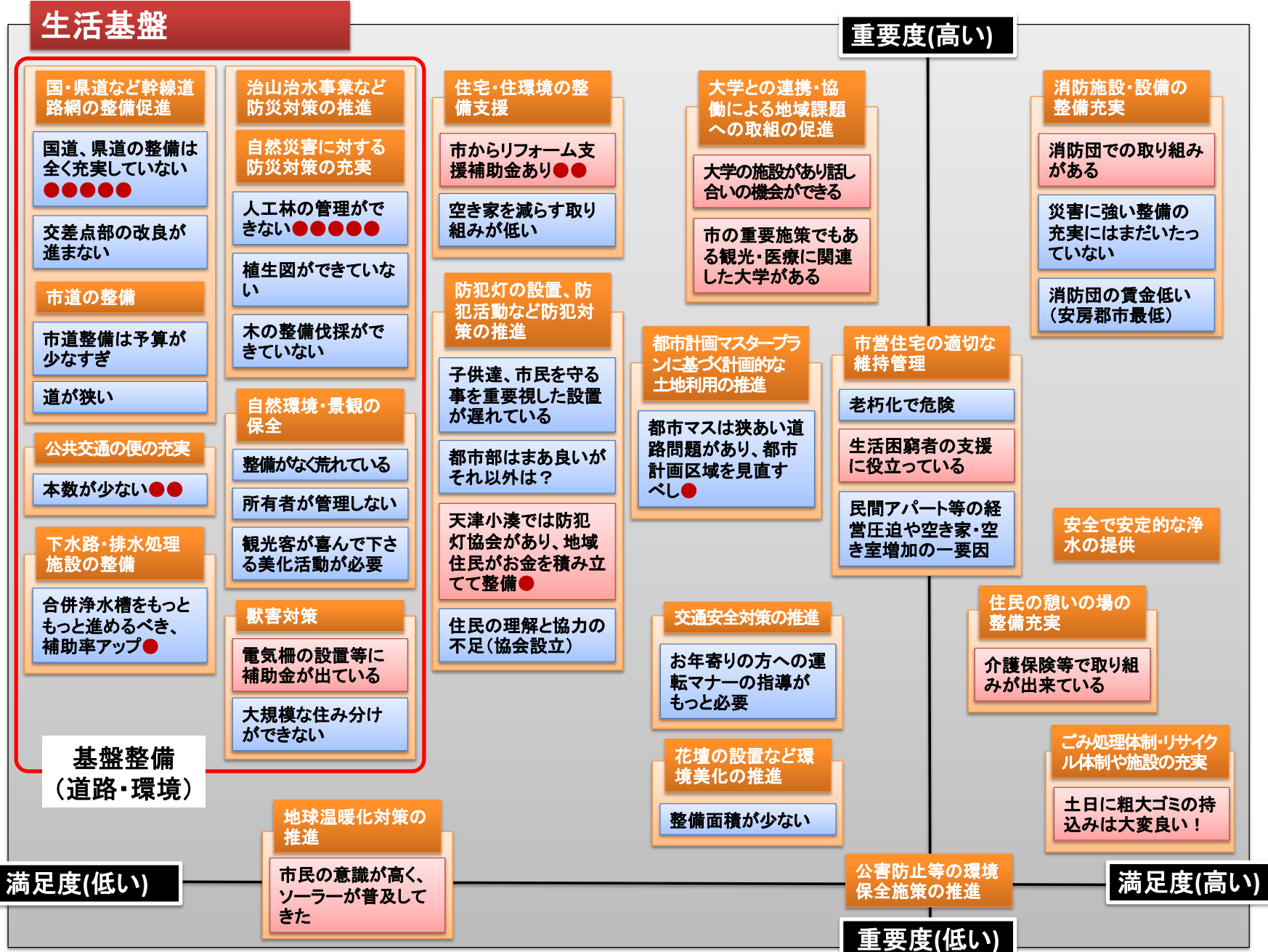
『生活基盤』のグループワーク結果

…施策カード

…まちの強み

…まちの弱み

●…重点シール



生活基盤 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の充実	・土日に粗大ゴミの持込みは大変良い！	—
住民の憩いの場の整備充実	・介護保険等で取り組みが出来ている	—
大学との連携・協働による地域課題への取組の促進	・大学の施設があり話し合いの機会ができる ・市の重要施策でもある観光・医療に関連した大学がある	—
地球温暖化対策の推進	・市民の意識が高く、ソーラーが普及してきた	—
消防施設・設備の整備充実	・消防団での取り組みがある	・災害に強い整備の充実にはまだいたっていない ・消防団の賃金が低い（安房郡市最低）
住宅・住環境の整備支援	・市からリフォーム支援補助金あり	・空き家を減らす取り組みが低い
防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進	・天津小湊では防犯灯協会があり、地域住民がお金を積み立てて整備	・住民の理解と協力の不足（協会設立） ・都市部はまあ良いがそれ以外は？ ・子供達、市民を守る事を重要視した設置が遅れている
市営住宅の適切な維持管理	・生活困窮者の支援に役立っている	・老朽化で危険 ・民間アパート等の経営圧迫や空き家・空き室増加の一要因
都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進	—	・都市マスは狭あい道路問題があり、都市計画区域を見直すべし
花壇の設置など環境美化の推進	—	・整備面積が少ない
交通安全対策の推進	—	・お年寄りの方への運転マナーの指導がもっと必要
下水路・排水処理施設の整備	—	・合併浄水槽をもっともっと進めるべき、補助率アップ

生活基盤 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～

施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
国・県道など幹線道路網の整備促進	—	<ul style="list-style-type: none"> ・国道、県道の整備は全く充実していない ・交差点部の改良が進まない
市道の整備	—	<ul style="list-style-type: none"> ・道が狭い ・市道整備は予算が少なすぎ
公共交通の便の充実	—	<ul style="list-style-type: none"> ・本数が少ない
自然災害に対する防災対策の充実	—	<ul style="list-style-type: none"> ・木の整備伐採ができていない
治山治水事業など防災対策の推進	—	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林の管理ができない ・植生図ができていない
自然環境・景観の保全		<ul style="list-style-type: none"> ・整備がなく、荒れている ・所有者が管理しない ・観光客が喜んで下さる美化活動が必要
獣害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・電気柵の設置等に補助金が出ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な住み分けができない

生活基盤 ～重要課題の抽出～

① 基盤整備（道路改良・自然環境）

【理由】 ボトルネックに起因する道路渋滞の顕在化

河川における水質汚濁の進行（対策案：合併浄化槽のより一層の推進）

野生鳥獣による森林被害の増加（対策案：有害鳥獣対策のより一層の推進）

② 住環境整備（狭あい道路・空家対策）

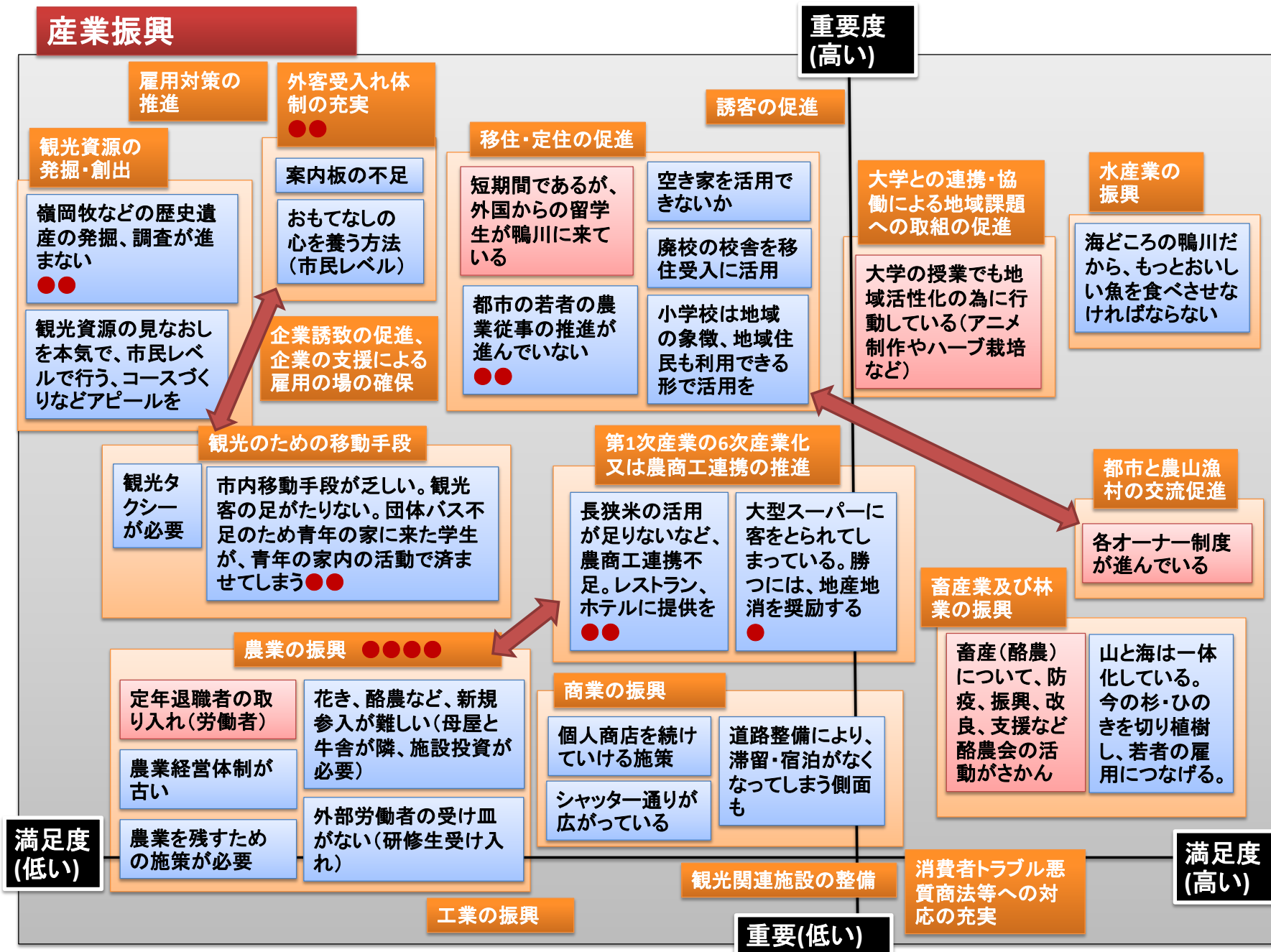
【理由】 狭あい道路に起因する生活・交通・安全上の支障

空き家の急速な増加

市営住宅の老朽化

『産業振興』のグループワーク結果

…施策カード …まちの強み …まちの弱み ●…重点シール



産業振興 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～

施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
都市と農山漁村の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> 各オーナー制度が進んでいる 	—
大学との連携・協働による地域課題への取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> 大学の授業でも地域活性化の為に行動している（アニメ制作やハーブ栽培など） 	—
畜産業及び林業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 畜産（酪農）について、防疫、振興、改良、支援など酪農会の活動がさかん 	<ul style="list-style-type: none"> 山と海は一体化している。今の杉・ひのきを切り植樹し、若者の雇用につなげる
移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> 短期間であるが、外国からの留学生が鴨川に来ている 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を活用できないか 廃校の校舎を移住受入に活用 小学校は地域の象徴、地域住民も利用できる形で活用を 都市の若者の農業従事の推進が進んでいない
農業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 定年退職者の取り入れ（労働者） 	<ul style="list-style-type: none"> 農業を残すための施策が必要 農業経営体制が古い 外部労働者の受け皿がない（研修生受け入れ） 花き、酪農など、新規参入が難しい（母屋と牛舎が隣、施設投資が必要）
水産業の振興	—	<ul style="list-style-type: none"> 海どころの鴨川だから、もっとおいしい魚を食べさせなければならない
第1次産業の6次産業化又は農商工連携の推進	—	<ul style="list-style-type: none"> 長狭米の活用が足りないなど、農商工連携不足。レストラン、ホテルに提供を 大型スーパーに客をとられてしまっている。勝つには、地産地消を奨励する
商業の振興	—	<ul style="list-style-type: none"> シャッター通りが広がっている 個人商店を続けていける施策 道路整備により、滞留・宿泊がなくなってしまう側面も

産業振興 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～

施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
観光のための移動手段	—	<ul style="list-style-type: none"> 市内移動手段が乏しい。観光客の足がたりない。団体バス不足のため青年の家に来た学生が、青年の家内の活動で済ませてしまう 観光タクシーが必要
外客受入れ体制の充実	—	<ul style="list-style-type: none"> 案内板の不足 おもてなしの心を養う方法（市民レベル）
観光資源の発掘・創出	—	<ul style="list-style-type: none"> 嶺岡牧などの歴史遺産の発掘、調査が進まない 観光資源の見なおしを本気で、市民レベルで行う、コースづくりなどアピールを

産業振興 ～重要課題の抽出～

① 第一次産業の振興

【理由】 農業者の後継者不足（対策案：都市住民に対する新規就農研修の実施）
新鮮で豊富な食材のPR不足（対策案：地産地消の推進）

② 観光産業の振興

【理由】 市内における移動手段の不足（対策案：観光タクシーの導入）
地域資源の活用不足（対策案：観光資源としての掘り起こし）

『教育文化』のグループワーク結果

…施策カード

…まちの強み

…まちの弱み

●…重点シール

教育文化

テーマ: 人を育てる

- ・優秀
- ・地域を愛している

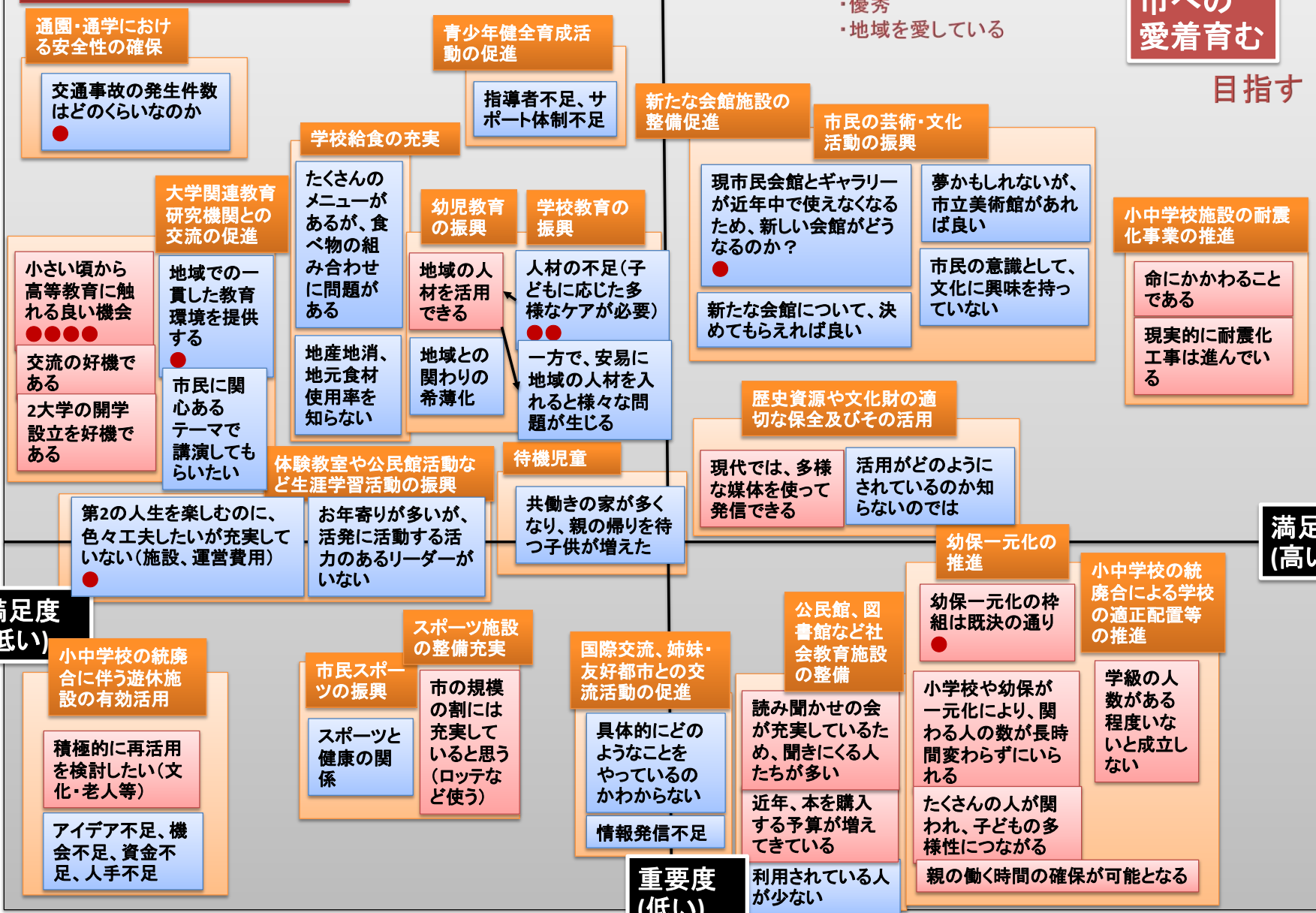
市への愛着育む

目指す

満足度(高い)

満足度(低い)

重要度(低い)



教育文化 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～		
施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
小中学校施設の耐震化事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 命にかかわることである 現実的に耐震化工事は進んでいる 	—
小中学校の統廃合による学校の適正配置等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学級の人数がある程度ないと成立しない たくさんの人が関われば、子どもの多様性につながる 	—
幼保一元化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼保一元化の枠組は既決の通り 親の働く時間の確保が可能となる 小学校や幼保の一元化により、関わる人の数が長期間変わらずにいられる 	
スポーツ施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> 市の規模の割には充実していると思う（ロッテなど使う） 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツと健康の関係
市民スポーツの振興		
歴史資源や文化財の適切な保全及びその活用	<ul style="list-style-type: none"> 現代では、多様な媒体を使って発信できる 	<ul style="list-style-type: none"> 活用がどのようにされているのか知らないのではないか
公民館、図書館など社会教育施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせの会が充実しているため、聞きにくる人たちが多い 近年、本を購入する予算が増えてきている 	<ul style="list-style-type: none"> 利用されている人が少ない
幼児教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人材を活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わりの希薄化 人材の不足（子どもに応じた多様なケアが必要） 一方で、安易に地域の人材を入れると様々な問題が生じる
学校教育の振興		
大学との連携・協働による地域課題への取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃から高等教育に触れる良い機会 交流の好機である 2 大学の開学設立は好機である 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での一貫した教育環境を提供する 市民に関心あるテーマで講演してもらいたい
大学関連教育研究機関との交流の促進		
小中学校の統廃合に伴う遊休施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に再活用を検討したい（文化・老人等） 	<ul style="list-style-type: none"> アイデア不足、機会不足、資金不足、人手不足
学校給食の充実	—	<ul style="list-style-type: none"> たくさんのメニューがあるが、食べ物の組み合わせに問題がある

教育文化 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～

施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
		<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消、地元食材使用率を知らない
市民の芸術・文化活動の振興		<ul style="list-style-type: none"> ・夢かもしれないが、市立美術館があれば良い ・市民の意識として、文化に興味を持っていない
新たな会館施設の整備促進	—	<ul style="list-style-type: none"> ・現市民会館とギャラリーが近年中で使えなくなるため、新しい会館はどうなるのか？ ・新たな会館施設について、決めてもらえれば良い
国際交流、姉妹・友好都市との交流活動の促進	—	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのようなことをやっているのかわからない ・情報発信不足
青少年健全育成活動の促進	—	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者不足、サポート体制の不足
体験教室や公民館活動など生涯学習活動の振興	—	<ul style="list-style-type: none"> ・第2の人生を楽しむのに、色々工夫したいが充実していない（施設、運営費用） ・お年寄りが多いが、活発に活動する活力のあるリーダーがいない
通園・通学における安全性の確保	—	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生件数はどのくらいなのか
待機児童	—	<ul style="list-style-type: none"> ・共働きの家が多くなり、親の帰りを待つ子供が増えた

教育文化 ～重要課題の抽出～

① 大学と地域による一体的な連携

【理由】市内に立地している大学との連携の不足（対策案：市内の保育園、幼稚園、小学校及び中学校教育との連携）

② 地元への愛を育てる

【理由】地域愛を育てる施策の不足（対策案：鴨川市ならではの教育の実施＝他の地域との差別化）

『健康福祉』のグループワーク結果

…施策カード

…まちの強み

…まちの弱み

●…重点シール

健康福祉

重要度
(高い)

子育て支援施策の促進

子育て支援、ファミリーサポートセンター機能分かりにくい ●

子育てに金銭がかかるので子供が増えない

保育サービスの充実、施設の整備

子育て世代の働き方にマッチしていない ●●●●

保育所の不足、時間外保育少ない ●

一次保育の施設ない ●

鴨川は共働きの街なので、公共保育施設や一般の保育所がもっとあってもいい

鴨川市のHPが見にくいし、サービスがあるならもっとPRして欲しい

高齢者施策の充実

一部の地域で買い物タクシーがあるので、市でも欲しい

独居高齢者の施策が見えない(買物、通院) ●

医療、療養施設が少ない ●

特養老人ホームは空きがない、待機者が多い ●

障害者施策の充実

障害者の働く場所が少ない

地域における健康づくりの活動

市民が積極的に取り組んでいる

健康に対する住民の意識が低い ●●

施設の利用しやすさが足りない ●

子どもの糖尿病が多くなっているため、子供の健康づくりも考えて欲しい ●

若い人に来てもらいたい ●

存在していることがあまり知られていない

限定された対象者のみの参加活動

健康において、地域活動と呼べるものになっていない。市全体で行ってもよいと思う

低所得世帯等への社会保障の充実

低所得者施策が見えて来ない

地域医療環境の充実

地区ごとに町医者がおり、大きな病気は亀田病院があるので安心 ●

亀田総合病院がある ●

24時間救急がある(どの地域からも近い)

国保病院が地域密着型で良い ●

総合病院があるどの地域からも近い

病院に近いため薬にたよる人が多い

利用しやすさで選べない

大学との連携・協働による地域課題への取組の促進

一般の人が講義を聞く事ができる

大学の行事に参加

学生が地域に行く場が少ない ●

学生の参加が少ない

学生との交流が少ない

保健サービスの充実・促進

健康診断、受診通知がしつこいくらいくる ●

バス送迎がある

若い人達の健診も必要だと ●

総合健診会場の数

満足度
(低い)

重要度
(低い)

満足度
(高い)

健康福祉 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～

施策	強み（満足度が高い理由）	弱み（満足度が低い理由）
地域医療環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・国保病院が地域密着型で良い ・地区ごとに町医者があり、大きな病気は亀田病院があるので安心 ・亀田総合病院がある ・24時間救急がある（どの地域からも近い） ・総合病院があるどの地域からも近い 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすさで選べない ・病院に近いため薬にたよる人が多い
保健サービスの充実・促進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断、受診通知がしつこいくらいくる ・バス送迎がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人達の健診も必要だと ・総合健診会場の数
大学との連携・協働による地域課題への取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の行事に参加 ・一般の人が講義を聞く事ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が地域に出て行く場が少ない ・学生の参加が少ない ・学生との交流が少ない
地域における健康づくりの活動	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が積極的に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に対する住民の意識が低い ・子どもの糖尿病が多くなっている、子供の健康づくりも考えて欲しい ・施設の利用しやすさが足りない ・若い人に来てもらいたい ・存在していることがあまり知られていない ・限定された対象者のみの参加活動 ・健康において、地域活動と呼べるものになっていない。市全体で行ってもよいと思う
高齢者施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の地域で買い物タクシーがあるので、市でも欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、療養施設が少ない ・特養老人ホームは空きがない、待機者が多い ・独居高齢者の施策が見えない（買物、通院）
障害者施策の充実	—	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の働く場所が少ない
子育て支援施策の促進	—	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに金銭がかかるので子供が増えない ・子育て支援、ファミリーサポートセンターの機能が分かりにくい

健康福祉 ～施策別「強み」と「弱み」のまとめ～

保育サービスの充実、施設の整備	<p style="text-align: center;">—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の働き方にマッチしていない ・一時保育の施設がない ・保育所の不足、時間外保育が少ない ・鴨川は共働きの街なので、公共保育施設や一般の保育所がもっとあってもいい ・鴨川市のHPが見にくいし、サービスがあるならもっとPRして欲しい
低所得世帯等への社会保障の充実	<p style="text-align: center;">—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低所得者施策が見えて来ない

健康福祉 ～重要課題の抽出～

① 子育て世代の生活・働き方に施設や内容がともなっていない

【理由】子育て世代のニーズに合致しない施策の展開（対策案：保育施設等の土日運営など）

② 健康づくりに対する市民の意識向上への働きかけが弱い

【理由】関連施策のPR不足。

地域活動と呼べるような健康づくりが見受けられない。

3. 第3回まちづくり市民会議

- 《テーマ》 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みについて
- 《日時》 平成27年3月28日(土) 13時から15時まで
- 《場所》 鴨川市役所4階大会議室
- 《出席者数》 26名（生活基盤…7名 産業振興…7名 教育文化…6名 保健福祉…6名）
- 《傍聴者数》 1名

《当日のプログラム》

① 開会・あいさつ

② ワークショップの進め方の説明

- ・ ワークショップの全体の流れを説明します。
- ・ 第1回及び第2回会議の結果並びに第3回会議の進め方を説明します。

③ グループワーク（テーマ別ワールド・カフェ）

- ・ 4つのテーマ（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワークを行います。
- ・ 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するために、第2回会議で抽出した重点課題の解決策となる取組みを提案します。

【ラウンド①】第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための取組みを提案①（30分）

- ・ 第2回会議で抽出した2つの重要課題に対して、テーマ別に取り組みの提案を付箋紙に記入してください。

【ラウンド②】第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための取組みを提案②（15分）

- ・ 別のテーマへ移動し、テーマに沿った取組みを提案します。

【ラウンド③】第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための取組みを提案③（15分）

- ・ 別のテーマへ移動し、テーマに沿った取組みを提案します。

【ラウンド④】重要な取組みを抽出（20分）

- ・ 重要だと思う意見に1人3つまでシールを貼り、最終的に重要な取組みを2つ抽出します。

④ 全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、まとめます。

⑤ 閉会

1 開会・あいさつ

杉田企画政策課長より、開会に当たってのあいさつを行いました。

【要旨】 本日の第3回会議では、前回に引き続き4つの分野ごとにグループワークを行っていただき、第1回会議でお示しをいただいた10年後の鴨川市を実現するための取組みを検討することに加え、その中から重要な取組みを抽出していただくこととしている。皆様には、忌憚りの無い、積極的なご意見ご発言をお願いしたい。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、ワークショップの全体の流れと第2回目の結果及び第3回目の進め方を説明しました。

3 グループワーク

4つの分野（生活基盤・産業振興・教育文化・健康福祉）ごとにグループワーク（テーマ別ワールドカフェ）を行いました。

【ラウンド①】〈30分〉 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みを提案①

第1回会議で示された鴨川市を実現するため、第2回会議で抽出した2つの重要課題に対するそれぞれの分野に沿った取組みをグループごとに話し合い、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド②】〈15分〉 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みを提案②

ホストを残し、別のテーブルへ移動し、それぞれの分野に沿った取組みを、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド③】〈15分〉 第1回会議で示された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みを提案③

ホストを残し、別のテーブルへ移動し、それぞれの分野に沿った取組みを、付箋紙に記入・共有する作業を行いました。

【ラウンド④】〈20分〉 重要な取組みを抽出

元のテーブルに戻って、重点的だと思う取組みに1人3つまでシールを貼り、最終的に分野ごとの重要な取組みを抽出しました。



<生活基盤>



<産業振興>



<教育文化>



<健康福祉>

4 全体確認(発表)・まとめ、閉会

グループワークの結果により、各分野（各グループ）で抽出された10年後の鴨川市を実現するための重要な取組みは以下のとおりでした。



<生活基盤>



<産業振興>



<教育文化>



<健康福祉>

『生活基盤』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「住みたい街づくり」のために・・・ ○「人口を増やす」ために・・・ ○「元気」なまちのために・・・ ○「ヤングタウン」のために・・・
<p>①基盤整備 (道路改良・自然環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林植生図を早く作成すること●● ・森林整備に関する環境税の導入 ・自然環境(特に山)に関して条例化する ・情報共有、具体的な問題を共通認識としてもつ ・民有林に関する地主の意識調査(第三者による整備) ・広域的な防護柵 ・合併浄化槽の推進に予算を付けてもっと安くしていく ・道路、128号線を広げる ・長狭高前交差点に右折レーンを増設 ・国、県、市における道路改良予算の増額 <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路を無料にする(高速～鴨川)● ・高規格道路の整備(週末移住を見据え都心より1時間圏内に)●●●● ・有害鳥獣(イノシシ、鹿など)の対策(広域防護柵)、共存は無理だと思うので壊滅させる● ・獣害は20年前の状態まで戻す ・耕作放棄地の解消に向けた行政の指導 ・バスターミナルの新設(市民会館跡) ・交通の便(公共交通機関)の本数の充実(ヤングタウンのために) ・コミュニティバスの改善、市民を交えて相談してほしい
<p>②住環境整備 (狭あい道路・空家対策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路の解消、都市計画から狭あい道路の項目を外す● ・通学路等の整備 ・路側帯の改良、道路の拡張 ・コミュニティバスをコンパクトにする●●●● ・ソーラー活性化● ・空家を都市部の人に割安で貸す●● ・グループで使用しやすい空家の整備 ・近隣市での対策を参考にする(南房総市、勝浦市、館山市) ・市営住宅の老朽化に伴い、空家を格安で貸し出すシステムづくり ・家屋取り壊し後の空き地については固定資産税を上げない●● ・若い人達(大学生、サーファーなど)のセカンドハウス的な低家賃のシェアハウスを推進する●●●● <ul style="list-style-type: none"> ・空家有効利用のシステムづくりを進めるための家主への意識調査 ・空家について、例えば市が借り上げ家賃を安くする(ホテル) ・市条例等による危険家屋の解体 ・貸店舗改修費補助金の支給 ・地方から来る大学生や留学生へ安く貸し出す ・シャッター通りの空き店舗をコミュニティルーム等に活用する ・海沿いの空家跡地を、有料駐車場として活用する ・廃校6校を有効活用(スクールレストラン、シェアハウスなど)し、若年世代を呼び込む

重要課題	重要な取組み
<p>①基盤整備 (道路改良・自然環境)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部から鴨川への道路整備 ・森林植生図の作成(情報共有)
<p>②住環境整備 (狭あい道路・空家対策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのコンパクト化(ニーズに即して) ・空家、廃校利用の推進(シェアハウス、グループホーム、ホテルなど)

『産業振興』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「地産地消」のために・・・ ○「鴨川ブランド」のために・・・ ○「国際化」のために・・・	○「感幸(観光)」のために・・・ ○「医と観光で職場作り」のために・・・ ○「元気」なまちのために・・・
①第一次産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・収入の増大● ・営農している方々が、所得が倍増して活気づくこと ・安定的な農業収入の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業、酪農は、個人経営ではなく、チームを作る ・集落営農の推進●●●● ・農・林・漁業者の人口増加(できれば若い人達) ・新規就農者が安心して暮らせるよう、地主とのコミュニティを形成する <ul style="list-style-type: none"> ・シーズンごとの地産地消料理を開発し、アピールする ・飲食店と生産者の連携で計画的に食材を調達する●●●● ・鴨川の売り込むものを体系化し、分かりやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕畜連携 ・労働時間の問題 ・首都圏(大都市)との関係を有効に活かす ・学生との協働(商品開発、プレゼンテーション、CM作り) ・鴨川市の売りの強化 ・売り場の整備(朝市、旧商店街) ・徳島県上勝町を視察→鴨川市に何も無いとは思わなくなる ・体験をすること ・農漁業について、市内の住民にも勉強させること ・長狭米のようなブランド品を生み出す
②観光産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・掘り起こした観光資源を、外に向けてアピールする●● ・観光資源を地元の人々が理解し、自分自身の誇りとしている● ・掘り起こした観光資源をPRし、運用する(活性化) ・誰でも行きやすいように、観光資源のルート化 ・おもてなしの意識●●●●● ・市ホームページの好感度を上げること ・自然景観ではなく都市景観も含めた景観の創造 ・鴨川マリーナ駐車場などの未活用地を再活用する。● 	<ul style="list-style-type: none"> ・未活用地を、市場や簡易食堂として再活用し、山・海のものを食べられるようにする ・新たな資源開発(嶺岡牧)● ・元気に働く市民の中に観光客を取り込んで共に楽しむ● ・現行の姿に関して、点検、整備及びリニューアルをする ・地元企業と地元飲食店との協力 ・景色創り(農林漁業) ・一次産業を利用した観光

重要課題	重要な取組み
①第一次産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農 ・計画的食材調達
②観光産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの意識の改善

『教育文化』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「住みたい街づくり」のために・・・ ○「ヤングタウン」のために・・・ ○「人口を増やす」ために・・・ ○「元気」なまちのために・・・
<p>①大学と地域による 一体的な連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で育てる意識を持つ(あたたかい目で見守る) ・学生の将来を決定させる、それにより鴨川市へ居住、定住させる● ・学生に対して、鴨川市で父母となるよう将来の指導をする● ・大学では何をテーマに勉強しているかを知り一般市民と学生の接点の手掛かりを探りたい(市民講座など)● ・大学生が主体となって行事を企画する ・大学生がショップをつくり、活気のあるまちにする ・雇用の拡大(就職先、学生中のアルバイトなど)● ・寮以外の宿泊場所の確保 ・定期的に地域と大学でイベントを行う ・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学間での連携 ・カリキュラムに交流の機会を設ける ・市民と大学生による定期的な会議を開催する ・問題を持っている人々が集まってテーマを設定し、計画・実行していくべきである ・小学校は細分化し、中学校・高校は一校・一貫(市立)にする ・大学生が幼稚園、小学校、中学校、高校を訪問し交流する(小さな子たちの遊び相手など)●
<p>②地元への愛を育てる</p>	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市の良いところ(有名なところ)を知る、学ぶ● ・他から来た学生に、鴨川市の魅力を知って、好きになってもらう(市民が紹介する) ・大学の授業や課外活動等で、街の中に入り込んできてもらい、その活動の中で市民と一体化する ・地元の人が忘れていた地元の偉人、歴史、自然を小さい子供の時から教えていく● ・子どもと老人たちとの交流を通して、鴨川市の良い所を見直したり、昔の良かったことを話してもらったりする●● </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の他(外)で教育できる機会を設ける●● ・お年寄りの学校 ・子供を安心して預けられる保育所 ・少子化で学校が少なくなる ・生涯学習の幼稚園版 ・市民講座を開く● ・大学との生涯教育や勉強会の実施● ・外に出ていく(市外に転出する)にしても、良い思い出を持っていてもらえるようにする ・まず、市民一人ひとりが地元の魅力を再確認する(自信を持つ)● ・地元認知アンケートの実施 ・名勝・史跡での現地学習● ・道徳教育の強化 ・市民交流の場を再認識した上で活用を図る(体育館、市民会館) ・伝統行事の継承により郷土愛を育む ・回覧板の再構築 ・地域の関係を再構築・強化(ただし、会費をなくすなど、ハードルを低くする必要がある) ・広報のページを増やし、市の歴史・魅力を紹介する●

重要課題	重要な取組み
<p>①大学と地域による一体的な連携 ②地元への愛を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「鴨川」をオール鴨川(幼・小・中・高・大)で教え、学ぶ

『健康福祉』のグループワーク結果

●：重点的だと思う取組み(1人3つまで)

10年後の鴨川市 重要課題	○「健康長寿」のために・・・ ○「子育てがしやすい」のために・・・ ○「人口を増やす」ために・・・	○「住みたい街づくり」のために・・・ ○「ヤングタウン」のために・・・ ○「元気」のまちのために・・・
①子育て世代の生活・働き方に施設や内容がともなっていない	<ul style="list-style-type: none"> 子どもも大人も楽しめる施設(子育てを楽しめる) ディズニーランド● ニーズの体系化と対応策検討(コストも含む) 市独自の育児手当補助をする 子育て世帯へのアンケートによる具体的な支援 共働きしても保育料が高くなるので、働きがいのある料金を設定する 公共施設の活用による保育施設の増設 就労地と保育施設と生活の場(家庭)が近いコンパクトシティ化(昔にかえること) 子育て家庭が出会う場を身近なところにつくる●● 子育て安心都市(町)宣言をできるようにする●●●● バザーやフリーマーケットを地区で開催し、子供達への支援につなげてゆく●●● 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊具の整備と種類の充実● 保育サービス施設の充実 指導をされることのない、ほっとすることのできる場をつくる 職業に見合った保育施設(時間や日数など) 学童保育を利用しやすい料金にする 市内の自然公園を利用する 補助金の充実 子育てに親しい安価なディスカウントショップがあるとよい 空家を、子育てに関するコミュニティの場とする 日曜や祝日でも預かってもらえる保育所の設置 廃校の利用(風船バレーボール大会や子育てサロンなど)
②健康づくりに対する市民の意識向上への働きかけが弱い	<ul style="list-style-type: none"> 企画と実施体制 健康に対する協議会が沢山あるので、その会を活用し取り組む 市内至る所に健康器具を設置する 市全体で体力アップのチャレンジプログラムを作成する(ウォーキングのまち) ちょっとした時間でも参加しやすいように(入り口のハードルを低く設定することで、継続しやすくなるのでは) 各地区戸別訪問により、広く活動してもらう 気楽に参加できる雰囲気 各地域への健康出前講座の開設 周知、参加促進の対応(広報「かもがわ」の活用、ボリュームの検討)●● 菜の花体操の鴨川 ver や 21 世紀 ver をつくる●●●● 	<ul style="list-style-type: none"> 大人から子どもまで参加できるイベント● 子育て家庭に、気軽な食育を提供する 予防医療に力を入れる(予防医療費の手当等) 市内の海、山、川でとった自然の物を食し、薬の代用にする 健康であるからこそ、考えが「-(マイナス)」になる(健康に対する意識が低くなる) 意識のもち方 若年層から高齢者までが参加できるゲームなどを町のゲームとして定期的実施することにより、楽しく健康づくりを行う 健康づくり(市民体操) 誰かのために又は生きがいとして、死ぬまで働けるシステムをつくる(生涯学習の講師など) 市の生涯学習を大いに利用する

重要課題	重要な取組み
①子育て世代の生活・働き方に施設や内容がともなっていない	<ul style="list-style-type: none"> 公園(もしくは廃校等)でフリーマーケットなどを開催し、子育て家庭が交流できる場をつくる → “子育て安心都市宣言” へ
②健康づくりに対する市民の意識向上への働きかけが弱い	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人までが楽しく参加できる市民体操を企画する → 広報でしっかりと周知し、多くの市民が参加できるようにする

4. 第4回まちづくり市民会議

《テーマ》 ～地域の課題とお宝さがし～

《日時》 平成27年4月26日(日) 13時から15時まで

《場所》 鴨川市役所4階大会議室

《出席者数》 17名（鴨川地区…6名 天津小湊地区…4名 江見地区…4名 長狭地区…3名）

《傍聴者数》 0名

《当日のプログラム》

① 開会・委員長あいさつ

② まちづくり市民会議の趣旨説明

- ・ 鴨川市都市計画マスタープランの概要を説明します。
- ・ 平成27年度ワークショップの趣旨を説明します。

③ ワークショップの進め方の説明

- ・ 平成27年度ワークショップの全体の流れを説明します。
- ・ 第3回会議の結果並びに第4回会議の進め方を説明します。

④ アイスブレイク（住んでいる地域の地図をつくろう）

- ・ 住んでいる地域の白図に、グループで話し合いながら自宅や鉄道、道路、河川、公共施設、観光資源、医療・福祉施設、教育施設などの場所を記入していきます。
- ・ 作成した地域の地図は、グループワークで使用する地域の地図となります。

⑤ グループワーク①（課題マップづくり）

- ・ 付箋に、現在課題となっている、または今後課題になりそうなこと・場所・施設等を記入し、地図に貼っていきます。

⑥ グループワーク②（お宝マップづくり）

- ・ 付箋に、地域が誇る資源やあまり知られていない地域のお宝、自慢したい地域活動などを記入し、地図に貼っていきます。

⑦ 全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、全体で意見を共有します。

⑧ 閉会

1 開会・委員長あいさつ

石田委員長より、開会に当たってのあいさつをいただきました。

【要旨】

本日はお休みの中、またお忙しい中お集まり頂いてありがとうございます。

これまでは市全体のまちづくりについて検討してきましたが、今年度からは地域ごとのまちづくりについて、より詳細に検討していくことになります。引き続き、活発なご議論をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。



2 まちづくり市民会議の趣旨説明

配布資料に基づき、市から都市計画マスタープランの概要と平成27年度ワークショップの趣旨を説明しました。

3 ワークショップの進め方の説明

第3回目の結果報告の後、平成27年度のワークショップ全体の流れと第4回の進め方を説明しました。

4 アイスブレイク

アイスブレイクとして、白地図にメンバーの自宅や交通網、主要施設等を記入し、地域のベース図を作成しました。

5 グループワーク① 課題マップづくり

付箋に、課題となっている、または今後なりそうなこと・場所・施設等を記入し、地図に貼っていきました。

6 グループワーク② お宝マップづくり

付箋に、地域が誇る資源やあまり知られていないお宝を記入し、地図に貼っていきました。



<鴨川地区>



<天津小湊地区>



<江見地区>





<長狭地区>

7 全体確認（発表）・まとめ、閉会

グループワークの結果により、各地域（各グループ）で出された意見や課題・お宝マップは以下のようにまとめられました。

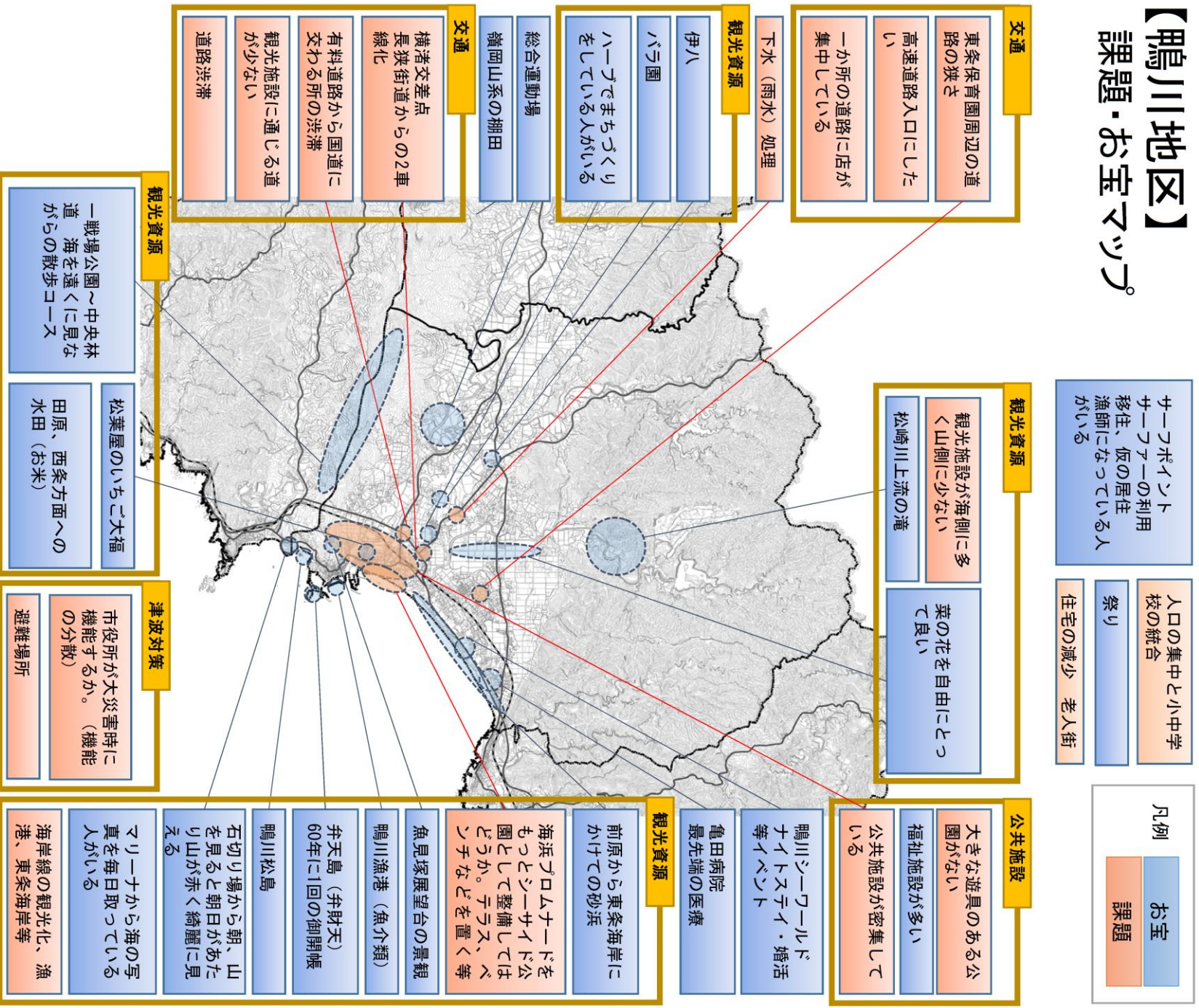
発表内容まとめ

地区	お宝・課題	お宝	課題	その他
<p>鴨川地区</p> 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀田病院 ・ 鴨川シーワールド ・ サーフィンができる ・ 散策コースとしての嶺岡の道 ・ 魚見塚展望台からの素晴らしい景色 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地の海側への集中や走路が一本で狭いこと、信号が変わるのが遅いことにより、主要な道路の渋滞が激しい ・ 海に近いため、津波のリスクが高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くある観光資源をさらに活かしていくべきである ・ 海側だけでなく山側も観光地として活用していきたい
<p>天津小湊地区</p> 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本一と謳う初日の出 ・ 小湊方面からの美しい夕陽 ・ 名産のひじき ・ 周辺神社の中では一番大きい須賀神社の神輿 ・ ホテルが多い ・ 地元愛が強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少・高齢化 ・ 人口減少に伴う地域伝統の衰退 ・ 狭い道路、がけ崩れ、駐車スペースの確保等、整備すべき個所がたくさんある ・ 住宅密集地が多く、住宅の立替がしにくい ・ 防災意識が低い ・ 空き家や住宅が離れ過ぎていることにより近所付き合いがしにくく、地域全体でのホスピタリティの精神が低い状況である ・ 観光資源が少ない ・ 既存の観光資源も新しいことをしなくては観光客が楽しめない状況である ・ 観光について漁業組合と連携が取れていない ・ 大人や子どもが遊ぶ場所が少なく、公園の整備がされていない ・ 商店が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本地区に出没する猪や鹿を食用としてうまく活用することはできないか ・ 初日の出や名産のひじき等、地域の魅力（お宝）を積極的に発信していくべきである ・ 天津の強い地元愛を活用していくべきである

発表内容まとめ

地区	お宝・課題	お宝	課題	その他
<p style="text-align: center;">江見地区</p> 		<ul style="list-style-type: none"> • 豊かな自然ときれいな海がある • 国道128号線の道路環境は良い • 海岸でビーチバレー大会を開催したところ、関東各地より55チームも集めることができた 	<ul style="list-style-type: none"> • 少子化による人口減少、雇用不足 • 銀行やお店が近くにないため、自動車による運転が必要だが、いずれ運転できなくなった時に移動の手段が無く、不安である • 国道128号線から脇道に入ると道が狭いため、歩行者や自転車との接触の危険性がある • 有害鳥獣(特にイノシシ)の対策が必要 • 田畑やビニールハウスが後継者不足により使われなくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> • 人を集める必要がある • 江見地区の豊かな自然を活かしていくことが重要である • 自然を活用しての取り組みを仕掛けるため、農業ボランティアや農業特区等といった下地を整備する必要がある
<p style="text-align: center;">長狭地区</p> 		<ul style="list-style-type: none"> • 長狭米がおいしい • みんなみの里 • 大山千枚田 • 5000本の梅を植える梅の里構想 	<ul style="list-style-type: none"> • 少子高齢化 • 大山千枚田を重要な観光資源として捉えるならば、そちらへつながる道路の整備をするべきである 	<ul style="list-style-type: none"> • フィールドワークを通して学生に地域の課題について知ってもらうため、関東10大学の泥んこバレーボール大会を棚田で行うことを計画している • 様々な企画を通して、地域と都会の若者との交流の機会をもつということが重要である • 長狭米について、米作りの技術が共有されていないため、農家ごとに出来栄の差が生まれているので、農協や地域で統一した技術をつくり、ブランド化を図っていくべきである

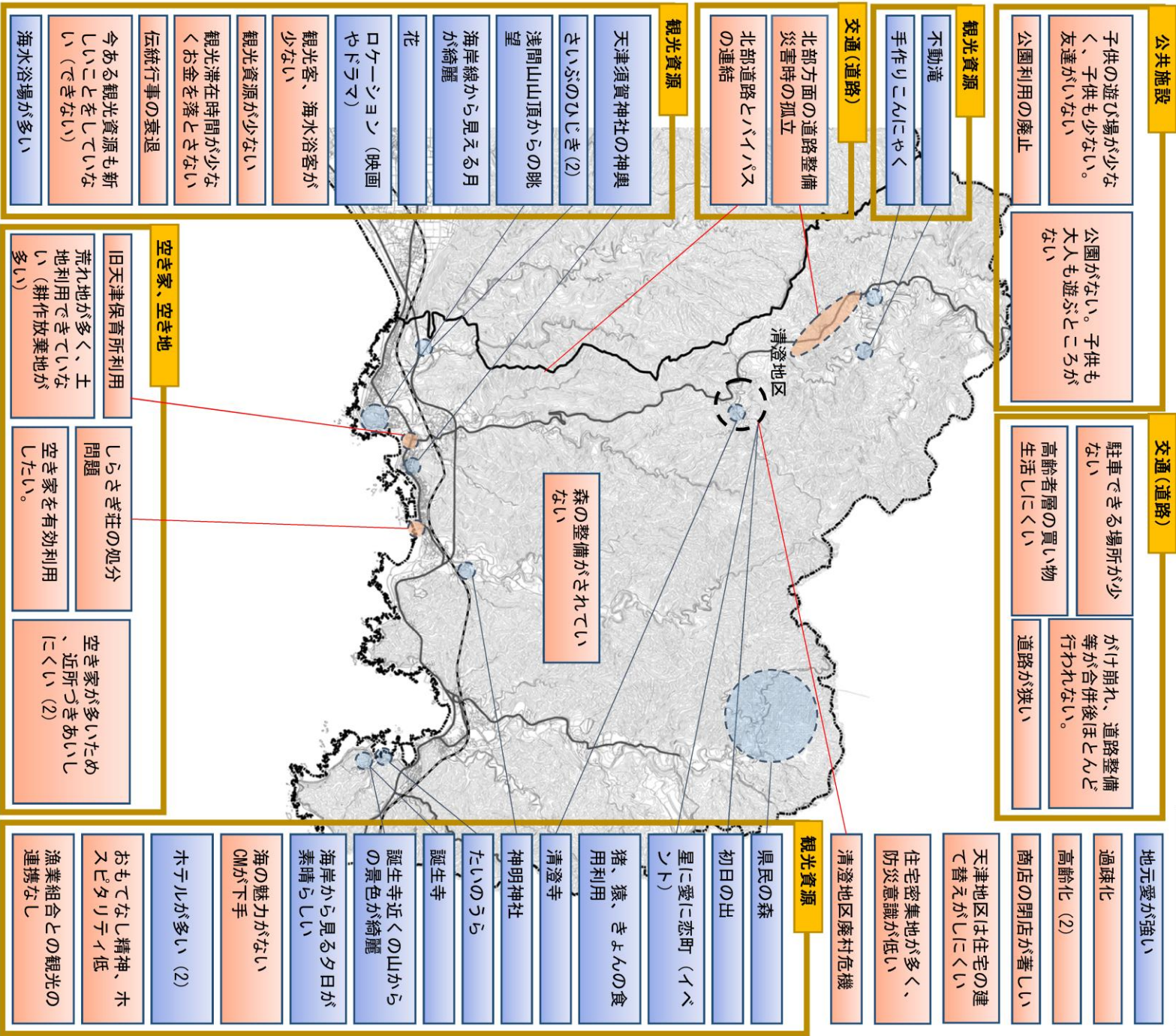
【鴨川地区】 課題・お宝マップ



【天津小湊地区】 課題・お宝マップ

凡例

お宝
課題



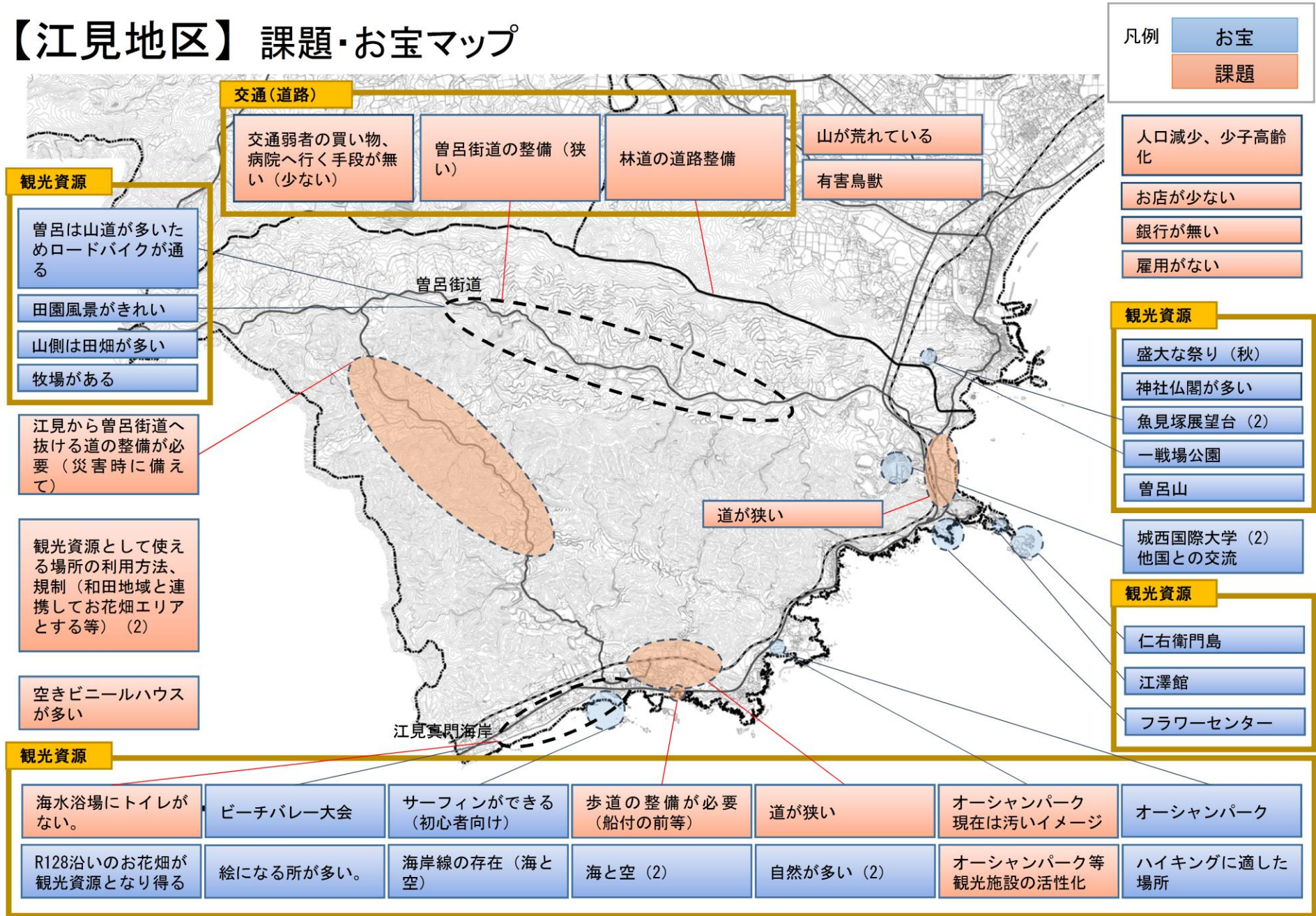
空き家、空き地

- 旧天津保育所利用
- 荒れ地が多く、土地利用できていない(耕作放棄地が多い)
- しらさき荘の処分問題
- 空き家を有効利用したい。
- 空き家が多いため、近所づきあいしにくい(2)

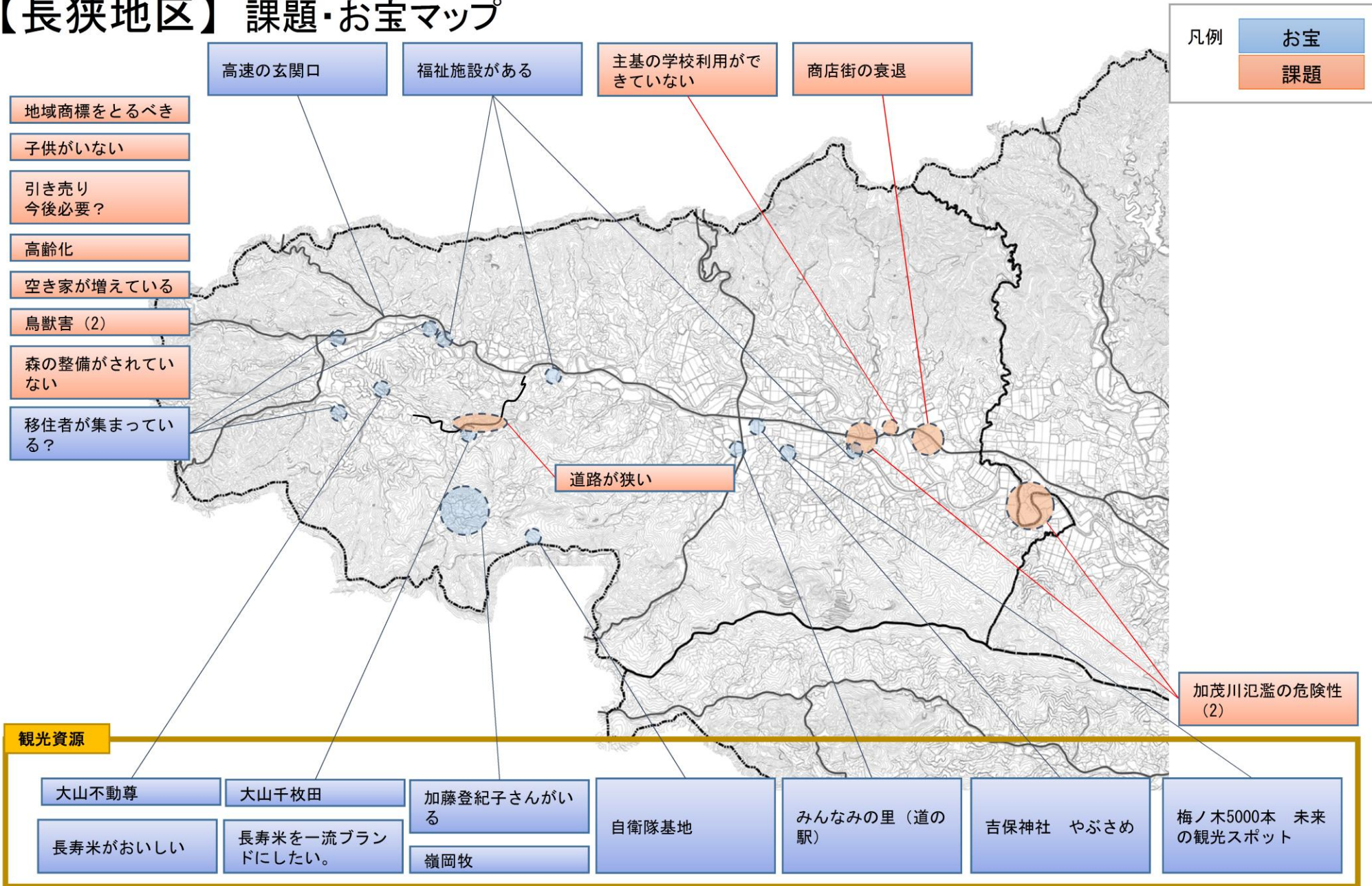
観光資源

- 清澄地区廃村危機
- 住宅密集地が多く、防災意識が低い
- 商店の閉店が著しい
- 天津地区は住宅の建て替えがしにくい
- 津民の森
- 初日の出
- 星に愛に恋町(イベント)
- 猪、猿、きよんの食利用
- 清澄寺
- 神明神社
- たいのうら
- 誕生寺
- 誕生寺近くの山からの景色が綺麗
- 海岸から見る夕日が素晴らしい
- 海の魅力がない
- CMが下手
- ホテルが多い(2)
- おもてなし精神、ホスピタリティ低
- 漁業組合との観光の連携なし

【江見地区】 課題・お宝マップ



【長狭地区】 課題・お宝マップ



5. 第5回まちづくり市民会議

《テ ー マ》 ～地域のまちづくりのキーワード・将来像の提案～

《日 時》 平成27年5月24日（日） 13時から15時まで

《場 所》 鴨川市役所4階大会議室

《出席者数》 21名（鴨川地域…5名 天津小湊地域…5名 江見地域…6名 長狭地域…5名）

《傍聴者数》 2名

《当日のプログラム》

① 開会あいさつ

② ワークショップの進め方の説明

- ・ 第4回の振り返りと第5回会議の進め方を説明します。

③ 各地域の現状説明

- ・ 4地域の人口や世帯数の推移、まちづくりアンケート調査結果、市民意向などを説明します。

④ 地域別ワールド・カフェ

- ・ ワールド・カフェ方式で、各地域の具体的な強み・弱みについて意見交換を行います。

【ラウンド①】地域の強み・弱みを考えよう（15分）

- ・ まずは、ご自分の地域のテーブルで、第4回会議で作成したお宝・課題マップを踏まえながら、地域の強み・弱みを付箋紙に記入してください。

【ラウンド②③】地域の強み・弱みを考えよう（各15分）

- ・ 各地域のリーダー以外は、別の地域のテーブルへ移動し、地域の強み・弱みを付箋紙に記入してください。

⑤ グループワーク 地域のキーワードの抽出と将来像の提案（35分）

- ・ ワールド・カフェでの意見を参考に、これからの地域のまちづくりにおいて、特に重要だと思うキーワードを5つ程度抽出します。
- ・ 抽出したキーワードを組み合わせ、都市計画マスタープランの地域別構想で掲げる、地域の将来像（キャッチフレーズ）を提案します。

⑥ 全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、全体で意見を共有します。

⑦ 閉会

1 開会

都市建設課長より、開会にあたってのあいさつを行いました。

2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、前回の振り返りと第5回の進め方を説明しました。

3 各地域の現状説明

各地域の人口・世帯推移や市民意向調査結果から、地域ごとの現況や住民意向の違いなどを説明しました。

4 ワールドカフェ ～それぞれの地域の強み・弱みを考えよう～

ワールドカフェ方式（3ラウンド）で、各地域の具体的な強み・弱みについて意見交換しました。

【1ラウンド目】 自分の担当地域の強み・弱みを検討

担当地域のまちづくりを進めていくうえでの強み・弱みについて、意見やキーワードをふせんに書き出し、メンバーで共有する作業を行いました。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

【2ラウンド目、3ラウンド目】 自分の担当地域以外の強み・弱みを検討

各地域のリーダーを残して他地域のテーブルに移動し、外から見た各地域の強み・弱みについて、意見やキーワードをふせんに書き出す作業を行いました。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



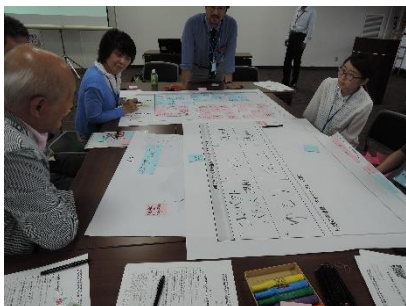
<長狭地域>

5 グループワーク 地域のキーワード抽出

もとの地域のテーブルに戻り、ワールドカフェで他地域のメンバーから出された意見も参考としながら、これからの地域づくりにおいて、特に重要だと思うキーワードを5つ程度抽出しました。

6 将来像の提案

抽出されたキーワードを組み合わせて、各地域が目指すべきまちづくりの将来像について検討しました。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

7 全体確認（発表）・閉会

各グループの代表者が検討成果を報告しました。ワールドカフェで検討した地域のキーワード、将来像は以下ようになります。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

鴨川地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド
地域の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・専門学校、2大学の設立によって、市外より学生が入っている ・鴨川シーワールド ・亀田グループ ・鴨川的大海原が続いている ・海、山での産物が豊かにある ・自然豊かな景観がコンパクトにまとまっている ・釣り ・景観 ・サーフィン ・鴨川のメイン玄関であり、JR駅と海に繋がる地区 ・星が綺麗 ・海と山のバランスが良く、海と山の素晴らしさを目で見て体で感じることでできる ・コンパクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川シーワールドがある ・鴨川シーワールドのお土産グッズにも力を入れてきている ・鴨川のコシヒカリ、野菜 ・スーパー等のお店の多さ(2) ・夏はイベントが多い(シーフェスタ等) ・医療と介護が充実している ・日本を代表する亀田病院がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の中心地 ・ビーチとマリーナ ・耕地整備の進んだ広い圃場 ・医療 ・買い物の中心地で生活に便利 ・若い人は大型店が好きなので若い人が集まる ・鴨川の中心となる資源設備の共有を一番期待できる
地域の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が必要 ・交通問題 ・おもてなしのイメージがない ・観光施設に通じる道が少ない ・リゾートの気分になれない ・大災害に対する意識と備え ・学生が地域を楽しむ場面(意識)が少ない ・観光案内所としての拠点ターミナル化すべき(お客様を迎えるおもてなし対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設での駐車場の整備が出来ておらず道路渋滞に繋がっている ・外から入ってきた人がコミュニティに入りづらい ・観光産業について、努力していない(2) ・働ける場所が少ない ・アピール力が弱い ・フラワーセンターの魅力が低下している ・新しいものがない ・渋滞が多い ・東条海岸の砂がどんどん減っている ・前原海岸側の観光施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街がシャッター化していてさみしい(3) ・東京、千葉へのバス、鉄道のターミナル ・公共の駐車場が少ない ・鴨川地域で1つのテーマをもったまちづくりが必要。現在は駅周辺や海沿いがそれぞれにテーマを持っており、バラバラの印象 ・スーパーなど大きな店が多すぎて個人の店が寂しい ・お年寄りのお買いもの ・企業誘致促進化

※ () 内の数字は複数出た意見を示す

キーワード	コンパクト、バランス、調和	活かす	賑わい
	癒し	ゆとり	向上
将来像	<p>調和のとれた自然を活かし 賑わいのあるいやしとゆとりのまち</p>		
理由	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワードとして「コンパクト」、「バランス」、「調和」が出たがこれは自然に関する内容を表現しており、海が見えたり山があったりと、色々な自然環境のバランスが良いという点で「調和のとれた自然」とした。 ○ この「調和のとれた自然」を「活かす」て、「賑わい」を生み出していきたいと考えた。 ○ 自然からくる「癒し」、交通の便等における「ゆとり」があるような、ゆったりとしたまちを目指したいと考え、このキャッチフレーズを提案した。 		

天津小湊地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド
地域の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋資源 ・森林資源 ・自然豊かで、海や山がある ・自然豊かであるので観光に力を入れるべき ・誕生寺や清澄寺等があり、宗教的資源が多いので利用できる(2) ・ホテルが多いので、協力して環境を整えれば強みとなる ・地元愛が強く、戻ってくる若者がいる ・地元消費意識が高い ・人口減少で若い人が少ないが老人が頑張れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・四季ごとに楽しみがある ・地域内にいろいろな環境がある ・気候が温暖 ・海岸沿いの風景が素晴らしい(2) ・清澄寺、誕生寺等、日蓮の歴史がある ・日蓮宗の大本山がある ・気候が温暖 ・住民がのんびりしていて、居心地が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・TBS お天気カメラがあり、鴨川の海を放映してくれている ・地域の団結力が強い ・日蓮の歴史がある ・人も気候も暖かいイメージ ・観光に対してストーリー性がないと成功しないが、天津小湊にはあるので、今後考えるべき
地域の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・マンパワー不足 ・地域コミュニティの衰退 ・空き家が多く、再利用を考えるべき ・人口減少により町に人がいなくなって静か ・各観光施設の駐車場の整備ができていない ・観光施設が昔のままで変わっていない。観光に新しいアイデアが必要な時期 ・日帰りの人が多いので、宿泊してもらうために市からの特典やサービスポイント等工夫が必要 ・ホテル、飲食店の料金が安い ・内浦湾の砂浜の砂が少なくなっている ・有害獣が多すぎる(猿、鹿、猪) ・ヒル、ダニがたくさんいる ・耕作放棄地が多い ・狭隘道路が多い ・都心からの交通アクセスが悪い ・誕生寺周辺の道路整備が進んでいない ・がけ崩れ箇所の整備が進んでいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・大本山を活かしきれていない ・住民がのんびりしていて、もっとよくなるという意識が低いように感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・TBS お天気カメラがあるが、江の島に負けている ・地域のしがらみが強い ・海岸線にごみが多い ・誕生寺や清澄寺等、歴史のある地区として一体的に宣伝すべき ・日蓮のPRが少ない ・参拝客が少ない ・名物が少ない(赤福のような) ・漁業に関して、アピールしていない

※ () 内の数字は複数出た意見を示す

天津小湊地域 ～「地域のキーワード」「将来像」のまとめ～

キーワード	観光	歴史 (宗教、日蓮ブランド)	産業
	自然 (山と海、豊かな自然)	元気	地元愛
将来像	<h2>“太陽と月”</h2> <h3>自然と歴史物語のある街</h3>		
理由	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天津小湊地域は、第一に「観光」がメインになると思う。誕生寺や清澄寺、海や山、海岸等をはじめ、ホテルも多いので、まず「観光」でまちを作っていかなければいけない。 ○ 天津小湊地域では、清澄寺等といった日蓮の「歴史」があり、鴨川の中でも特に歴史ある地域である。観光と産業が成功するにはストーリー性がないとだめだと思うが、歴史ある天津小湊はストーリーを生み出す可能性が高い。また、海も山もあって「自然」も豊かである。 ○ 地域のお年寄りが元気だという点で「元気」もキーワードに入れた。お年寄りが元気だと若者もがんばれると思う。 ○ 天津小湊は「地元愛」が非常に強いと感じており、他の地域に負けないものであると考えた。 ○ これらのキーワードを含めて考えた将来像で、「太陽と月」は海岸線沿いから見え、これは「観光」「自然」に関わるものである。 		

江見地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド
地域の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・海、山等があり、自然豊か(4) ・海や山等の観光資源を共有できれば強みになる ・日の出、夕焼け、星空が綺麗 ・海岸線を有しており、温暖で景観も良い ・林道 ・国道の景観 ・マリンスポーツ ・磯遊び ・絵になる風景がある ・時間の流れをゆっくりに感じることが出来る場所 ・城西国際大学 ・道の駅 ・鴨川の中でも特に気候が温暖である 	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖な気候 ・農業 ・園芸、花 ・別荘、景勝地に適している ・曾呂地区を中心に棚田の里 ・温暖 ・新たな景色の可能性(熱帯植物) ・海と里山の両方を味わえる地区 ・フラワーセンターをもっと楽しい観光施設にできたら良い ・自然、食材が豊かで、観光に適している ・夏みかんや金柑等の果実が豊富にある ・お米がおいしい ・団結力が強い 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーシャンパークの足湯 ・曾呂地区の山にはカブト虫やクワガタが多いので、民宿などでPRできれば観光資源になるのではないかと ・景勝地 ・仁右衛門島 ・松島 ・漁港 ・海岸
地域の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・東京や千葉市へのアクセスが悪い ・道路整備が必要 ・過疎化 ・買い物や、病院へ行く際の交通手段が頼りない(3) ・国道からの素晴らしい景観を味わう場所(駐車場)がない ・自然の保全、共生の方法を考えていくべき ・行政からの距離感 ・田畑が荒れている ・有害鳥獣 ・農業(花)を守っていくことが出来ない ・人口流出(年寄りが多い) ・高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が素晴らしいにもかかわらず、滞在し満喫するための宿泊施設が少ない ・自然と食(特に魚)を活かして観光客の滞在につなげることはできないか ・PR不足(3) ・散歩時のトイレがない ・オーシャンパークは汚いイメージ、もっと魅力的にするべき(2) ・老人が多い ・耕作者が少なく、せっかくの資源を利用できていない ・耕作放棄地が目立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・民宿が多くあるがあまり知られていない ・住みやすい場所であるが、アパートが少ない ・景勝地へ行くための整備(駐車場) ・景勝地や海岸(松島)等観光施設があるにも関わらず、駐車場が少なくアクセスが悪い ・バーベキューできる場所があるというのをもっとPRするべき ・ハイキングコースの素晴らしさをPR出来ていない ・仁右衛門島は観光地としてのやる気を感じない

※ () 内の数字は複数出た意見を示す

江見地域 ～「地域のキーワード」「将来像」のまとめ～

キーワード	海、磯、里山	歴史、学、国際交流	あたたかい、住みやすい
	移住、住みたくなる	魅力	交通
将来像	<h2>自然豊かな海・山が魅力</h2> <h3>国際交流がある住みたくなるあたたかいまち</h3>		
理由	<ul style="list-style-type: none"> ○ 江見地域は南側全てが海であり、その反対側が山という構成になっている。海と山の2つがまちづくりを進めていく上で大きなポイントになってくると考え、キーワードとして「海」、「里山」を挙げた。しかし「海」といっても抽象的なので、岩場が多いというのが一つの江見地域の特徴になるため、「磯」もキーワードとして挙げた。 ○ 「歴史」に関して、仁右衛門島は相当な知名度があるという点で「歴史」の柱になると考えられる。 ○ 江見地域には城西国際大学が立地しているため、「国際交流」もこの地域の大きな一つのキーワードになってくると考えた。 ○ 江見地域は「あたたかい」（温暖）ので「住みやすい」。自然豊かであることも活かして、外部の住民から「移住」したいと思ってもらえるような「住みたくなる」まちを目指したいと考えた。 ○ それらを含めて「魅力」のあるまちが江見だという点で「魅力」もキーワードとして考えた。 		

長狭地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド
地域の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・長狭米 ・有名な千枚田 ・グリーンツーリズム ・ロードバイクでサイクリングする人が増えた ・里山の自然景観（2） ・森林がたくさんある ・野菜、米がおいしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が優しい ・奉仕の精神を持っている ・国保病院が地域に密着している ・医療重要度が高い ・伊八 ・大山寺 ・日本一のジャンボかぼちゃ ・長狭米ブランド ・みんなみの里 ・産業化 ・不動尊の修繕事業の様子を観光客に見せる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大災害時の防災拠点に ・長狭米はこだわり、食通の形容詞 ・みんなみの里の野菜の安さ ・みんなみの里で、地元の物を使った料理 ・食に関して、宝の山
地域の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害 ・高齢者の買い物、通院が不便 ・市内への交通の便が悪い ・働く所が少ない ・農業を守っていかなければならないが、後継者不足問題がある（2） ・若者減少により、消防団員が不足 ・人口減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・山の中へのアクセスが悪い ・長狭街道について、今どこを走っているのか分かりづらい ・集落が点在しているため交通が不便 ・後継者不足 ・山林が整備できていない ・産業として農業が心配 ・廃校の再利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・大山千枚田の場所が分かりにくい ・業者が良い野菜を買いあさっている

※（ ）内の数字は複数出た意見を示す

長狭地域 ～「地域のキーワード」「将来像」のまとめ～

キーワード	地域伝統文化 (かっこ舞、やぶさめ、大山不動尊等)	長狭米をブランド米へ 美味しい農産物の長狭平野	緑豊かな里山が広がる長狭地域
	都会からの移住者	若者が住みやすいまち	災害に強い (防災センター設置)
将来像	<h2>伝統と豊かな食と自然が生きる 人情あふれる安全なまち</h2>		
理由	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長狭地域の大山不動尊ややぶさめといった伝統文化を「伝統」、長狭米に代表される食べ物や里山の自然を「豊かな食と自然」と表現。 ○ 農村地域は人情味にあふれており、都会からの移住者も増えていることから、暮らしやすい地域ということを「人情あふれる」と表現。 ○ これから災害が起きたとき、海から離れたこの地域が防災拠点という位置づけになれば良いという思いを込めて「安全なまち」と表現。 		

6. 第6回まちづくり市民会議

《テーマ》 ～将来像の実現に必要な取り組みの提案～

《日時》 平成27年6月27日（土） 13時から15時まで

《場所》 鴨川市役所4階大会議室

《出席者数》 19名（鴨川地域…6名 天津小湊地域…5名 江見地域…5名 長狭地域…3名）

《傍聴者数》 2名

《当日のプログラム》

① 開会・市長あいさつ

② ワークショップの進め方の説明

- ・ 第5回の振り返りと第6回会議の進め方を説明します。

③ 各地域の将来像の設定・確認

- ・ 前回、地域ごとに提案された将来像を踏まえ、事務局で調整した案を全体にご報告し、意見交換を行います。

④ 地域別ワールド・カフェ 地域づくりに向けた具体的な取り組みの提案

【ラウンド①】 地域で取り組むべき施策・活動等を提案しよう（15分）

- ・ まず、ご自分の地域のテーブルで、地域の将来像を実現していくために、今後地域で取り組んでいくべき施策や活動等を付箋に記入し、模造紙に貼っていきます。
- ・ その際、提案した施策・活動等を、どの主体（住民・行政・事業者・NPOなど）が中心となって担うべきかも一緒に考えながら分類します。

【ラウンド②③】 地域で取り組むべき施策・活動等を提案しよう（各15分）

- ・ 各地域のリーダー以外は、別の地域のテーブルへ移動し、ラウンド①と同様に、各地域での具体的な取り組みについて意見交換してください。

⑤ グループワーク 地域における重要施策の抽出（25分）

- ・ 再び元のテーブルに戻り、ワールド・カフェで出された意見の中で、特に重要だと思う取り組みにシールを貼り、地域の重要施策を3つ抽出します。（1人3つまで）

⑥ 全体確認・まとめ

- ・ 本日の成果を発表し、全体で意見を共有します。

⑦ 委員長あいさつ・閉会

1 開会・市長あいさつ

鴨川市長より、開会にあたってのあいさつを行いました。

【要旨】

新たな総合計画の策定及び都市計画マスタープランの改定の時期を迎えるにあたり、鴨川市では今ある資源を活かしながら、市民の皆様との協働によるまちづくりを推進していきたいと考えている。協働によるまちづくりを進めていくために、皆様の意見を聞くことが出来るこのような機会は大変重要なものである。6回に渡って開催された市民会議も本日で最後となるが、今までいただいた皆様のご意見は可能な限り計画に反映していきたいと思う。



2 ワークショップの進め方の説明

配布資料に基づき、前回の振り返りと第6回の進め方を説明しました。

3 各地域の将来像の設定・確認

前回、各地域から提案してもらった地域の将来像（キャッチフレーズ）を参考に、事務局で精査した案を全体に説明し、概ねの方向性について了承を得ました。

4 地域づくりの具体的な取り組みの提案

ワールドカフェ方式（3ラウンド）で、将来像の実現に向けて、今後地域で取り組むべき施策・活動等を付箋に記入し、模造紙に貼る作業を行いました。

提案した施策・活動については、どの主体が中心となって担うべきかも一緒に考えながら分類して貼り付けました。

1ラウンド目は自分の担当地域、2ラウンド目、3ラウンド目は自分の担当地域以外について検討しました。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

5 地域における重要施策の抽出

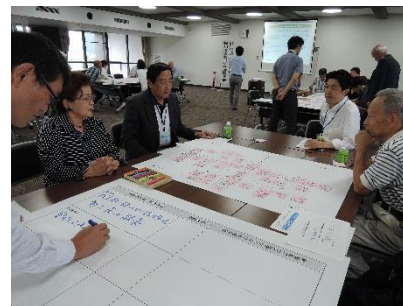
これまで出された意見を見ながら、特に必要性・優先度が高いと思われる取り組みにシールを貼り（1人3枚）、重点施策を3つ抽出しました。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

6 全体発表

各グループの代表者が検討成果を報告しました。ワールドカフェの結果と重点施策は次ページのとおりです。



<鴨川地域>



<天津小湊地域>



<江見地域>



<長狭地域>

鴨川地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

※ () 内の数字は複数出た意見を示す

住 民

行 政

住民主体のまちづくり ●●

まず、自分たちが鴨川の良さを知る

市民ひとりひとりがおもてなしの気持ちを持つ

鴨川の良いところをアピール
マイスター (2)

親戚、友人、知人が訪れたときに「鴨川案内ガイドをする」

湾岸線の清掃、整備、改善

海岸、野山のゴミ掃除

10年後の成人たちの意見を取り入れる夢・まちづくり

今までの鴨川の良さを活かす

子供を介したまちづくり ●●●●●●●●

千葉市の小学校が宿泊に来ているので、鴨川の良さを教える

他市の子供との交流

鴨川にいる大学生を卒業後も鴨川に置く

子どもの頃から鴨川の良さを知ってもらう

小中学校施設を利用して、交流を図る

鴨川流の遊び方を学校のカリキュラムとリンクさせる

子供たちが、大好きな鴨川を発表する場を設ける

駅前活性化 ●●●

駅からシーワールドへの遊歩道を歩いて楽しいものにする

観光案内所の設備等を整え、観光ターミナル化する (3)

駅前～旧市街地をリゾート都市として再開発

駅前にウエルカムボードを作る等、駅前の鴨川らしさを (2)

商店街の再利用・拡大

イベントの推進 ●●●●

サーフィンが自由にできる

音楽発信

市内運動施設を利用したスポーツ交流の都市にしたい

海を活かしたスポーツイベントの開催

市の中心なので、交流イベントを継続的に開催する

地域資源(海、林道、運動施設、歴史文化)を活用したイベントの開催

「波の伊八」、「長谷川昂」を生んだ鴨川で彫刻展を開催する (砂の)

交通整備 ●

高速道路までのアクセスをもっとよくなる

シャッター通りを駐車場化するなどして、観光客向けの駐車場を増やす

バスのターミナル化等、交通の便を増やす (3)

NPO 等

事業者

鴨川市シーワールドの情報発信

大型商業施設があり、地方での消費生活のデメリットが少ない

東条、西条、田原の野菜のブランド化 (2)

亀田医療病院があるので、産業面などで利用したい

将来像（案）

調和のとれた自然を活かした 賑わいのある癒しとゆとりのまち 鴨川

具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
<p>重点施策 1</p> <p>鴨川の将来を担う子ども達が他の地域の人との交流を通し、鴨川の良さに気づき、アピールする</p>	<p>行政</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが地元「鴨川」をもっと知り、郷土愛を深め鴨川の将来に「大きな力」として存在すること <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 5年後、10年後のまちづくりを見据え、将来を担う子供たちに地元のことをよく知ってもらうことで、就職・結婚しても他都市に流出せず、鴨川で暮らしていく若い世代が増加する。 ● 子供を通して親世代も地域の良さに気付く <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 子供への地元愛の醸成を通じて、その親世代にも地域の良さが伝わり、地域の伝統や生活環境を保全・改善するためのまちづくり活動等の活発化が図られる。
<p>重点施策 2</p> <p>恵まれた資源（自然・歴史・施設）を活用したイベント開催</p>	<p>行政 事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の獲得 ● 地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 海や山、波の伊八、総合運動施設などの地域資源を活かしたイベントを開催することで、新たな観光客を獲得することができ、鴨川地域だけでなく、市全体の活性化にもつながる。
<p>重点施策 3</p> <p>駅前から鴨川らしさを出し、活性化</p>	<p>事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の獲得 ● 活性化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 駅前がシャッター街となっているので、本市の玄関口のひとつとなる鴨川駅周辺を活用し、地域住民や観光客が滞留できるような空間を形成し、賑わいを生み出すことで、駅周辺部での観光客の獲得とさらなる活性化を図る。

天津小湊地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

※ () 内の数字は複数出た意見を示す

住民

空き家・空き地対策

空き家の貸し出し。有効利用

四方木地区の再利用の工夫 (農地・空き家)

清澄寺の集落の再利用

大型農家の育成

地元の産物の食べ方、料理の仕方をアピール

行政

治山治水事業の推進

人口林の管理、手入れ (民有林)

森林整備の促進

河川ごとの合併浄化槽の促進

内浦海岸養浜事業の推進 ●

生活基盤の整備

実入バイパスの早期完成

県道拡張 (市原天津小湊) ●

市道整備の促進

がけ崩れ防止工事の着工

北部道路から天津バイパスの道路早期完成 ●

都市計画から狭隘道路部分を外す

市会議員全体定数削減 ●

海沿いの駐車場利用

海岸線利用の充実。利用していただく方々の気持ちで改善していく

海沿いの駐車場を活かしてほしい。勝浦の部原などは停めることができないほど車が来ている ●●

山、海などの自然を活用し児童の体力・学力を向上させる

都心高齢者の受け皿として空き家を活用 (観光にも繋げる)

獣害対策

有害鳥獣の撲滅

猪、鹿の食用利用

長い休みにサマースクールなどを行ったら良い

子育て支援。若者の働く力を助けていく (人口)

公園を作ってほしい

夏祭りを利用し観光客も参加できるような受け入れと、HP を利用してのイベントのアピール

鯛せんべいに替わる土産品の開発

歴史を活かした観光振興

清澄寺の観光宣伝

誕生寺からスタートして清澄で終わるような観光ルートが欲しい

観光ボランティアの活動をフル活用する ●

歴史ツアーを組む

歴史のまちとして打ち出す ●

日蓮の歴史の小径の整備

日蓮ブランドの創作。お坊さんを使ったPR ●●

観光資源の発掘・発信

観光マップに合わせて美味しい食事コースも

鴨川ライスパーガーや鴨川米麺をお店にお願いします

観光施設を活かしフリーパスツアー等、バス会社と共に進め市のアピールをしていく。得点いっぱい低価格で ●

ブランド化の推進 ●

林産物、水産資源、農産物のブランド化。キノコ、こんにゃく、里芋等。

ひじきのブランド化

低廉価格の宿泊料、食事代 ●●

漁業の観光活用

磯の産物採り体験

泊まり込みの海産物収穫体験ツアー

開かれた漁協づくり

漁場と一般の人の遊び場の話し合いをしてほしい

海を開放する手法を考える

小湊湾遊覧船の復活

NPO 等

事業者

将来像（案）

元気な住民による産業の活性化 自然と歴史物語のあるまち 天津小湊

具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
<p>重点施策 1</p> <p>宿泊施設・食事等の料金の低価格化</p>	<p>事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の増加 <ul style="list-style-type: none"> → 地域内のホテル・旅館の宿泊料金や食事等の料金が、他の観光地と比較しても高すぎるので、低価格化を図ることで、さらなる観光客の獲得につながる。 ● 地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> → 地域内に観光客が増えることで、地域経済の向上や、それに伴う雇用促進など、様々な活性化が図られる。
<p>重点施策 2</p> <p>海沿いの駐車場の活用・整備</p>	<p>行政 住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 沿道の活性化 ● 観光客の増加（滞在促進） <ul style="list-style-type: none"> → 海が見える道路沿いに、観光客が気軽に利用できる駐車場を整備することで、これまで本地域を通過していた観光客の足をとめ、地域での滞在・観光を促進する。
<p>重点施策 3</p> <p>日蓮のPR・ブランド化 (大河ドラマ、映画化!?)</p>	<p>全員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 知名度向上による販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> → 本地域の重要な歴史・文化である日蓮を売りにしたPRやブランド化を図ることにより、全国へ鴨川市の天津小湊地域を知っていただく機会を創出し、その知名度を活かして、観光客やインターネットなどの活用により、地域物産の販路拡大を図る。 ● 住民の観光まちづくり意識の改善、向上 <ul style="list-style-type: none"> → たくさんの観光客が地域を訪れるようになれば、おのずと地域住民の観光まちづくりに対する意識の改善・向上が見込まれ、住民の主体的なまちづくり活動などにより、よりよい地域づくりが図られる。

江見地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

※ () 内の数字は複数出た意見を示す

住民

海辺をきれいにする

健康志向。ラジオ体操第三の実施

江見の温泉。山の薪を活用(高齢者の職業とする)

道の駅(オーシャンパーク) 他の利用方法、目的を考える

海産物(特産品は天草)

大学との交流の促進

授業参観、地域ミーティングなどを通じた学生との交流

大学との交流。生涯教室

イベントの恒例化
イルミネーション、フラワーロード(花壇)、祭り等

イベントを充実させる
・海水浴場
・ビーチバレー大会
・サーフィン大会
・トライアスロン
・釣り大会

行政

地区回覧板の再構築

観光資源の情報発信 ●●●

観光マップの作成
歴史、ハイキング、釣り、グルメ

ハイキングプランの提示
・マップ作り
・案内所設置

気軽に立ち寄れる場 ●●

案内看板を設置する

トイレ、シャワーを設ける

オーシャンパークをR128道路側から見て魅力的にする(噴水がいまいち) ●

国道から海をゆっくり眺められるスペースを作る(3)

道路整備
現状を把握する方法を考え、共有する

江見～曾呂街道の県道改善

曾呂川へ遊歩道をかけ、エリア内を遊歩道でつなぐ

住む人にやさしい ●●●

温暖な施設を活かした施設(介護)

地域の子供、老人が楽しい時間を過ごせる工夫(小学校跡地利用による交流の場等)

第2の人生の天国の場(死ぬまで自由に生きられる場)にする

医療と地域のネットワーク

地域内の足の確保

地域内の移動手段の工夫
・コミュニティバス
・移動コンビニで地域食材を売る ●●●

コミュニティバスを運行させ、小さなコミュニティを繋げる

少子高齢化対策

小さなコミュニティ作り(高齢化、人口減少に対して)

農とのふれあい ●●●

地域になじんでもらうための体験農園

空き田畑の活用。農業特区化。都会の人に使うてもらおう

花畑の活性化。畑を拡大し、和田とリンクさせる

道路沿いの活性化

ドライブスルー的な商売

道路沿いで小さなお店(秋田のパパベラのような)

移住希望者へのPR 定期的に情報発信する

空き民宿をパーキングとして活用

観光施設の有効活用

山 ツリーハウス キャンプ場

オーシャンパークの活用
子供が水遊びできる(昔はできていた)。

親子で釣りができる

NPO等

事業者

将来像（案）

海・山の魅力を活かした定住と交流 住みたくなるあったかいまち 江見

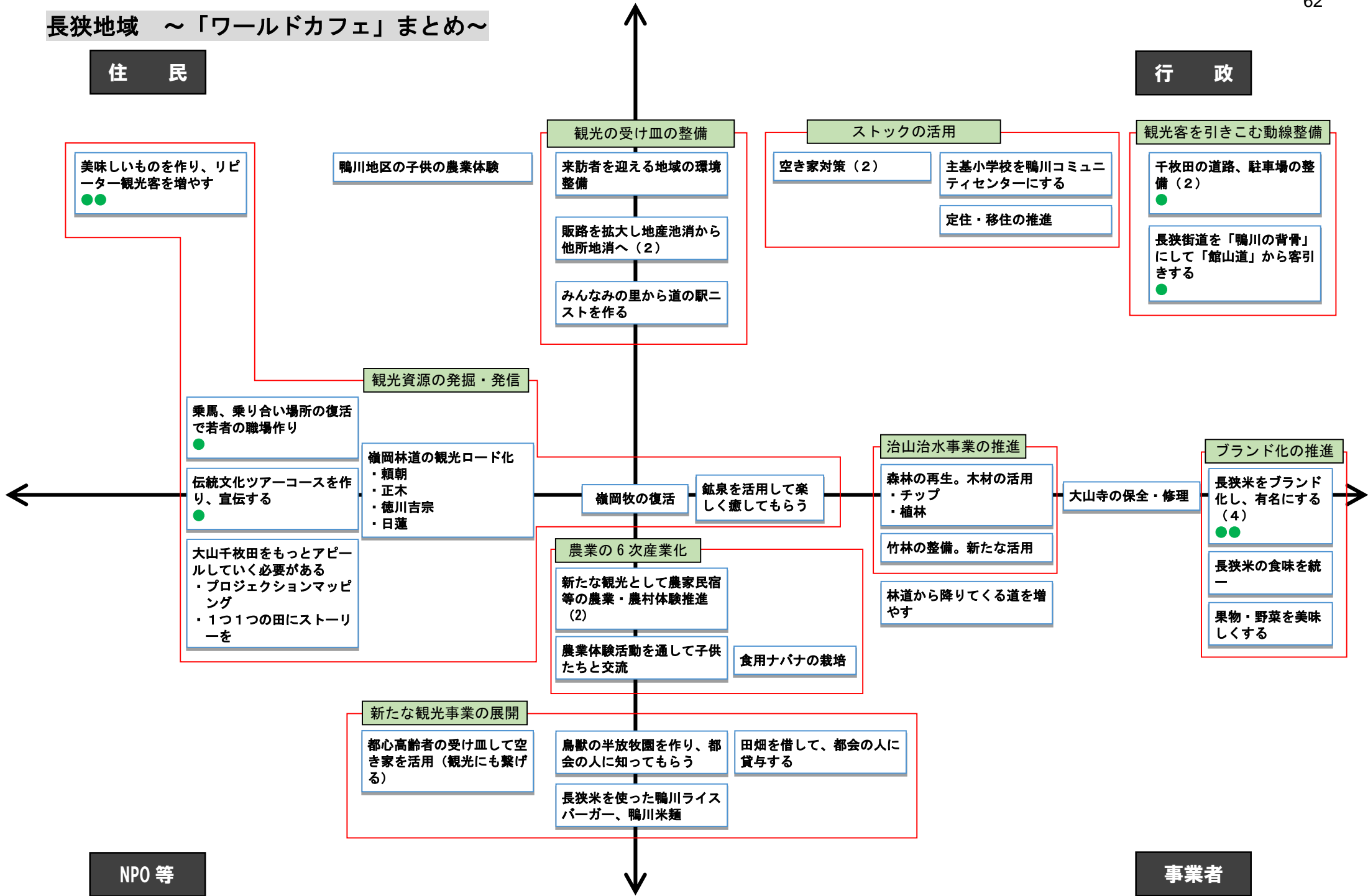
具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
<p>重点施策 1</p> <p>国道沿いの活性化 海と花の散策</p>	<p>行政 事業者 住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道沿いで海、花の PR ● 地域特産品の販売 ● 観光客の増加による雇用の促進 <p>→ 国道沿いに地域が形成されている特徴を踏まえ、沿道に駐車場を整備し、本地域ならではの景色や特産品の販売、海や花を活かした地域散策ルート等を整備し、観光客の獲得と地域内雇用の創出を図る。</p>
<p>重点施策 2</p> <p>安心してずっと住める環境作り (地域ネットワーク)</p>	<p>住民 行政 事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住の促進 ● 人口の維持 ● 廃校の活用 <p>→ 地域の中でも移動が困難な高齢者や独居世帯が増えており、廃校等の活用によって、そうした住民たちが日常的に集まれるような施設を整備することで、移住希望者も安心して地域に移住することができ、人口の維持にもつながる。</p>
<p>重点施策 3</p> <p>地域内の移動手段の確保 (コミュニティバス、移動コンビニ)</p>	<p>事業者 住民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住みやすくなる ● 地域内コミュニティの向上 ● 健康促進 <p>→ 坂道や路地などが多く、観光スポットも各地に点在していることから、住民や観光客にとって、いかに地域内を移動しやすくすることが重要。既存のコミュニティバスをもっと使いやすいように改善し、フリーストップエリアの設定や高齢者のための移動コンビニを運行することで、ずっと住み続けることができる地域づくりが進んでいく。</p>

※ は特に主体となる機関

長狭地域 ～「ワールドカフェ」まとめ～

住 民

行 政



NPO 等

事業者

将来像（案）

伝統と豊かな食と自然が生きる 人情あふれる安全・安心なまち 長狭

具体的な取り組み内容	推進主体	取り組みによって期待される効果
<p>重点施策 1</p> <p>長狭米のブランド化</p>	<p>行政 事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 食味の統一化による消費拡大 <ul style="list-style-type: none"> → 現在は長狭米といっても販売元によって味にバラつきがある。生産体制から徹底した管理を図り、食味を統一していくことにより、長狭米の消費拡大、ひいては取引価格の向上により、地域経済の発展が見込まれる。
<p>重点施策 2</p> <p>新たな観光の創生 (受け入れ体制の整備)</p>	<p>行政 住民 NPO 事業者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の獲得 ● 地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> → 農家民泊や農業・農村体験、地域の食文化など、今までの観光とは異なる、農村部ならではの体験型観光プログラムやツアーコースを整備していくことで、新たな観光客の獲得を図るとともに、地域の活性化を図る。
<p>重点施策 3</p> <p>インフラ整備 (道路、森林、駐車場)</p>	<p>行政 NPO</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の獲得 <ul style="list-style-type: none"> → 都心部から本地域、地域内に点在する観光拠点へのアクセス道路や駐車場を整備することで、更なる観光客の獲得を図る。 ● 安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> → 景観保全としての森林整備を進めるとともに、観光客の受け入れに向けた、観光拠点周辺の道路や駐車場の草刈り等の手入れなどにより、地域の安全性の確保が図られる。